

ロシア極東 9 地域の 農林水産概況・国家プログラム

I	サハ共和国 (Respublika Sakha)	1
II	カムチャツカ地方 (Kamchatskij krai)	6
III	沿海地方 (Primorsky krai)	12
IV	ハバロフスク地方 (Khabarovskiy krai)	18
V	アムール州 (Amurskaya oblastj)	23
VI	マガダン州 (Magadanskaya oblastj)	28
VII	サハリン州 (Sakhalinskaya oblastj)	33
VIII	ユダヤ自治州 (Ebreiskaya avtonomnaya oblastj)	39
IX	チュコト自治管区 (Chukoto Avtonomnyj okrug)	43

I サハ共和国 (Respublika Sakha)

1. 一般事情

面積	308 万 3,500 km ²
人口	95 万 6,900 人 (2015 年 1 月 1 日現在)
首都	ヤクーツク (Yakutsk)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

2. 経済

主要産業	鉱業 (43.0)、運輸・通信 (9.5%)、建設業 (8.1%)、卸売・小売業 (7.2%)
域内総生産(GRP)	5,691 億 3,160 万ルーブル (2013 年)
消費者物価指数	110.3% (2014 年 12 月前年同月比)
失業率・失業者数	7.4% 3 万 7,000 人 (2014 年)
貿易額	・輸出 : 50 億 5,020 万ドル ・輸入 : 7510 万ドル
主要貿易品目	・輸出 : 燃料・エネルギー製品 (6 億 2,810 万ドル)、機械・設備・輸送機器 (6,140 万ドル)、食料品・農産原料 (90 万ドル)、木材・パルプ・製紙製品 (70 万ドル)、金属・金属製品 (10 万ドル) ・輸入 : 機械・設備・輸送機器 (3,240 万ドル)、食料品・農産原料 (1,670 万ドル)、化学工業製品・ゴム (1,070 万ドル)、金属・金属製品 (970 万ドル)、木材・パルプ・製紙製品 (50 万ドル)
主要貿易相手国	・輸出 : 対 NIS 諸国 3,200 万ドル、その他諸外国 (ベルギー、インド、イスラエル、米国、香港等) 50 億 1,820 万ドル ・輸入 : 対 NIS 諸国 660 万ドル、その他諸外国 (ブラジル、イタリア、韓国、米国、中国等) 6,850 万ドル

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

3. 農業

農業生産額	218 億 4,700 万ルーブル (2014 年) 56 位
農地面積	作付面積 : 4 万 5,100 ha (2014 年)
主要農畜産物 生産量 (2015 年)	穀物 : 1 万 2,200 トン (69 位) ジャガイモ : 7 万 6,300 トン (70 位) 野菜 : 3 万 6,700 トン (66 位) 食肉 : 2 万 2,300 トン (65 位) 牛乳 : 16 万 8,400 トン (57 位) 鶏卵 : 1 億 3,660 万個 (54 位) ハチミツ : 1 トン (78 位)
畜産(頭数)	牛 19 万 900 (37 位)、豚 24,400 (63 位)、羊・ヤギ 1,400 (79 位)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

4. 農業概況

2015 年、サハ共和国（ヤクーチヤ）の農業製品生産額は 222 億ルーブルで、ロシアの地域で 59 位、ロシア全体に占める生産額の割合は 0.4% であった。

人口 1 人当たりの農業生産額は 23,200 ルーブルで、この数値についてサハ共和国はロシアで 60 位であり、ロシア全体の平均値は 34,400 ルーブルである。

2015 年、サハ共和国の農業製品の構成については、農産物が 32.2%、畜産物が 67.8% であった。農産物生産額は 71 億ルーブルで、ロシア全体で 63 位、全生産額の 0.3% を占めた。

2015 年、サハ共和国の作付面積は 46,500 ha（地域の中で 71 位）であり、牧草とその他の飼料用作物の栽培地が占める割合が高い。小麦の生産量は 2,100 トン（作付面積 2,400 ha）、大麦 2,300 トン（3,900 ha）、燕麦 3,700 トン（4,400 ha）、ジャガイモ 19,100 トン（2,700 ha）、露地栽培の野菜 10,800 トン（800 ha）、温室栽培の野菜 900 トン、スイカ・カボチャ類 300 トン（20 ha）である。

2015 年、サハ共和国の畜産物生産額は 151 億ルーブル（ロシア全体の生産額の 0.6%、ロシアの地域中 54 位）であった。食肉生産量は 20,800 トンであり、43.8% が牛肉、5.9% が豚肉、鳥肉が 10.9%、トナカイの肉と馬肉、その他の食肉が 39.3% である。

（出所） ab-centre 「ロシア各地域の農業」 (<http://ab-centre.ru/page/selskoe-hozyaystvo-regionov-rossii>)

5. 林業

林業企業数	77 社 従業員数：354 人（2014 年）
未加工木材生産量	84 万 4,200 m ³ （2014 年）（25 位）
森林復元	5 万 6,600 ha（2014 年）

（出所） ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

6. 林業概況

ヤクーチヤの森林は産業と社会の需要を満たす再生可能な天然資源の一つであり、環境を形成し、環境を保護する機能を果たしている。林業振興のあらゆる段階において、森林の安定的な管理を行い、様々な目的で継続的に枯渇させることなく利用することは戦略的に非常に重要な課題である。

同時に、ロシア連邦の 6 分の一の森林蓄積量と森林資源開発の大きなポテンシャルを持ちながら、サハ共和国の木材加工の水準はその他の極東連邦管区の地域に対して著しく劣る。木材加工水準が低いため、GRP に占める林産分野の割合は 1% 以下である。

サハ共和国の森林フォンド総面積は 254,752,200 ha である。森林面積は 156,459,600 ha であり、森林フォンド総面積の 61% に当たる。森林は高木林が 135,485,700 ha で、85.7% を占め、低木林は 22,574,400 ha で、14.3% を占める。サハ共和国の森林面積はロシア連邦全体の 22.8%、世界の 4.1% に当たる。保護林は全体の 11.3%、生産林が 42.2%、予備林が 46.5% を占める。

サハ共和国の森林蓄積は約 86 億 4,970 万 m³ であり、針葉樹林が 99% を占めている。

サハ共和国の特徴は、森林が遠隔地域に集中していることである。遠隔地域の森林開発は道路、住宅、その他の重要なインフラ建設に莫大な投資を必要とする。南部の営林区は現在建設中のベルカキト・ヤクーツク間の鉄道に近いため、林産業にとって魅力的なものになる可能性がある。

最大の蓄積量 20 億 7,090 万 m³ を持つ生産林はタイガの凍土帯に集中している。南部森林地域の主要樹種の成熟林と老齢林の木材蓄積は 11 億 2,633 万 m³ で、すべての生産林の蓄積量の 53% を占める。生産林総面積の 99.5% が針葉樹林である。

サハ共和国は森林面積、木材蓄積量、許容伐採量について極東連邦管区で第1位である。2012年の年間許容伐採量は34,742,600 m³である。

2012年の木材加工量は1,651,190 m³で、許容伐採量の4.75%にすぎない。

サハ共和国には19の営林区がある。貸与されている地区的総面積は450,300 haである。多くの営林区において許容伐採量の利用は1%以下である。木材加工業は主にサハ共和国の生産林の56%が集中している南部にある。南部の営林区がサハ共和国における木材総生産量の約39%を生産している。

輸送インフラが発達しておらず、林産品の国内外市場から離れていることが、大規模な林業分野が育たない原因である。さらに林業の発展を妨げているのは、森林の在庫管理データの質の悪さである。この管理情報の大部分が20年以上前のものであり、1950年代中旬のものも多い。

(出所) 国家プログラム「サハ共和国の2012年～2019年の林業の振興」、国連食糧農業機関「ロシア極東の林業調査」

7. 水産業

活魚・生魚漁獲量	4,632トン（商業漁業割当量）（2011年）
漁獲品目	ウスリーシロザケ（82%）（2011年）
企業数	324企業（内54企業が7協同組合に加入：割当量71%）（2011年）

(出所) 国家プログラム「サハ共和国の農業の振興、農産物、原料、食糧市場の規制」

8. 水産業概況

サハ共和国（ヤクーチヤ）の水産基盤にはラプテフ海、東シベリア海の大陸棚が含まれ、55種の魚が棲息するが、海では商業的漁獲は行われていない。また全長28,100 kmにおよぶ多くの河川、総面積43,500 km²におよぶ多くの湖、面積2,170 km²のビリュイ貯水池があり、河川には651カ所、湖には1,048カ所の漁区がある。

商業的漁獲の89%以上は河川の下流にある北極圏の地域に集中している。漁獲量の82%を占めるのは、毎年夏から秋に遡上し、冬にデルタ地帯へと川を下るウスリーシロザケである。そのため漁獲は遡上の季節に行われる。2011年には商業漁獲割当量は2010年の79.5%に当たる4,632トンで、その内北極圏地域には4,157トンが割り当てられており、漁獲は主に小規模経営の漁業者を集めた漁業協同組合によって行われている。協同組合では設備の建設および購入による技術的更新を行い、冷蔵設備の建設が行われている。しかし、漁獲割当量は70%ほどしか消化されておらず、商業漁業による実際の漁獲量は3,500～4,000トンである。個人と北方の少数民族による年間漁獲量は約2,500トンである。

(出所) 国家プログラム「サハ共和国の農業の振興、農産物、原料、食糧市場の規制」

9. 2013年産業別GRP

農業・林業	漁業	鉱業	加工業	電気・ガス・水道業	建設業	卸売・小売業	ホテル・レストラン
2.3%	0.1%	43.0%	1.7%	3.8%	8.1%	7.2%	0.7%
運輸・通信	金融業	不動産業	政府・軍関係	教育関連	ヘルスケア及び行政サービス	その他の社会・個人サービス	
9.5%	0.2%	4.7%	6.8%	5.7%	4.6%	4.6%	1.6%

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

10. 国家プログラム

(1) 農業

タイトル	サハ共和国（ヤクーチヤ）国家プログラム「2012～2020年の農業の振興および農産物、原料、食糧市場の規制」		
国家プログラム 履行責任者	サハ共和国（ヤクーチヤ）農業・食糧政策省		
期間	2012年～2020年	予算	基本案：105,342,200,000 ルーブル 強化案：195,820,800,000 ルーブル
目的	<p>2020年までのプログラムの目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ロシアの世界貿易機関（WTO）加盟の枠内においてサハ共和国（ヤクーチヤ）の自給レベルを向上させられる地場の農作物の競争力の向上 農業分野の技術開発の振興、また、土地資源の効率的利用 農村地域の安定的発展 農村住民の增收と伝統的生活様式の保存 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> 畜産物の生産と早熟種の家畜の生産の増大 馬の集団飼育の安定的な振興のための経済的・組織的条件の整備 土壤肥沃度の保全および再生、農産物の水準の向上、畜産用の飼料基盤の強化 農産物の生産増大のための条件を整備するために、品質改良システムおよび農業給水施設を効率的に利用すること 家畜病面の安全を確保し、家畜衛生面で安全な農業製品を住民に供給すること サハ共和国（ヤクーチヤ）の食料品の自給レベルの向上 農業地域の安定的発展のための環境の整備、農村住民の雇用および生活レベルの向上 水産分野の安定的発展のための環境の整備 北方の少数民族の生活様式および就業形態など北方の伝統的分野の保存 農業協同組合および農民経営（フェルメル）による商品生産量の増加 農業分野の生産施設の建設および改築、生産機械・技術の近代化、技術開発の振興とサハ共和国（ヤクーチヤ）への投資の誘致を促進できる良好な経済環境の整備により、農業分野の商品生産者の製品の競争力を高めること 農業の振興および農産物、原料、食糧市場の規制の分野における良好な環境の整備 農業分野における管理機能の確保 		
プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 畜産の振興 馬の集団飼育の振興 農産の振興 北方の伝統的分野の振興 食品工業および加工業の振興 水産分野の振興 2012-2020年の農業用地の土地改良の振興 家畜衛生の確保 2012-2013年の農村部の社会的発展 2014-2017年および2020年までの農村地域の安定的発展 農村部における協同組合と小規模経営形態の振興 農業分野の生産施設の建設、機械・技術の近代化 農業分野の機能のための総合的な環境の整備 プログラムの管理 		

(2)林業

タイトル	サハ共和国（ヤクーチヤ）国家プログラム「2012年～2019年の林業の振興」		
国家プログラム 履行責任者	サハ共和国（ヤクーチヤ）林業関係局		
期間	2012～2019年	予 算	基本案：7,496,424,000 ルーブル 強化案：12,104,291,000 ルーブル
目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 安定的な森林管理 ● 森林資源ポテンシャルの維持および向上 ● 森林の集約的利用 ● 森林資源に対する社会の需要を安定的に満すこと 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林火災の発生および延焼の警告および予防 ● 効果的な森林防火システムの創設 ● 森林における連邦国家森林監視（森林保護）および連邦国家火災監視の効率向上 ● 現存の木材加工設備の根本的な近代化 		
プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 森林の保全、保護および再生 2. 森林の利用、国家森林登記簿の確保、森林における連邦国家森林監視（森林保護）および連邦国家火災監督の実施 3. 林業および木材加工業の振興 		

II カムチャツカ地方 (Kamchatskij krai)

1. 一般事情

面積	46 万 4,300 km ²
人口	31 万 7,200 人 (2015 年 1 月 1 日現在)
首都	ペトロパブロフスク・カムチャツキー (Petropavlovsk-Kamchatskij)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」



2. 経済

主要産業	政府・軍関係 (18.0%)、漁業 (12.6%)、卸売・小売業 (10.1%)、加工業 (10.0%)
域内総生産(GRP)	1315 億 6,060 万ルーブル (2013 年)
消費者物価指数	107.8% (2014 年 12 月前年同月比)
失業者数	6.1% 1 万 1,000 人(2014 年)
貿易額	・輸出 : 5 億 2,070 万ドル ・輸入 : 8,710 万ドル
主要貿易品目	・輸出 : 食料品・農産原料 (5 億 680 万ドル)、金属・金属製品 (900 万ドル)、燃料・エネルギー製品 (340 万ドル)、機械・設備・輸送機器 (150 万ドル) ・輸入 : 機械・設備・輸送機器 (4,150 万ドル)、食料品・農産原料 (860 万ドル)、金属・金属製品 (860 万ドル)、化学工業製品・ゴム (680 万ドル)、木材・パルプ・製紙製品 (470 万ドル)、燃料・エネルギー製品 (30 万ドル)
主要貿易相手国	・輸出 : 対 NIS 諸国 40 万ドル、その他諸外国 (韓国、中国、日本、英国、米国等) 5 億 2,030 万ドル ・輸入 : 対 NIS 諸国 140 万ドル、その他諸外国 (韓国、オランダ、中国、日本、ノルウェイ等) 8,570 万ドル

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

3. 農業

農業生産額	81 億 600 万ルーブル (2014 年) 73 位
農地面積	作付面積 : 2 万 1,200 ha (2014 年)
主要農畜産物 生産量 (2015 年)	穀物 : 200 トン (75 位) ジャガイモ : 4 万 7,600 トン (72 位) 野菜 : 1 万 8,200 トン (74 位) 食肉 : 3,300 トン (77 位) 牛乳 : 1 万 7,500 トン (78 位) 鶏卵 : 4,560 万個 (70 位) ハチミツ : 4 トン (76 位)
畜産(頭数)	牛 1 万 (76 位)、豚 14,500 (67 位)、羊・ヤギ 3,100 (77 位)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

4. 農業概況

2015年、カムチャツカ地方の農業分野の製品生産額は85億ルーブルで、ロシアで73位、ロシア全体に占めるカムチャツカ地方の生産額の割合は0.2%であった。

人口1人当たりの農業生産額は26,700ルーブルで、この数値についてカムチャツカ地方はロシアで50位であり、ロシア全体の平均値は34,400ルーブルである。

農業分野の生産に占める畜産の割合は50.6%、農産の割合が49.4%である。

2015年、カムチャツカ地方の作付面積は20,800haであり、牧草の栽培地が占める割合が比較的高い。農産物については、ジャガイモ14,700トン（作付面積900ha）、露地栽培の野菜8,100トン（300ha）、温室栽培の野菜100トンを収穫した。わずかであるが、燕麦と大麦も生産された。

2015年カムチャツカ地方の畜産物の生産額は43億ルーブル（ロシア全体の生産額の0.2%、ロシアの地域中72位）であった。食肉生産量は3,600トンであり、64.3%が豚肉、17.0%が牛肉、鳥肉が7.9%、羊肉とヤギ肉が1.0%、その他の食肉が9.8%である。

（出所）ab-centre「ロシア各地域の農業」(<http://ab-centre.ru/page/selskoe-hozyaystvo-regionov-rossii>)

2013年、カムチャツカ地方の農村部居住者は73,400人で総人口の22.9%であるが、その内農業に携わっているのは約5,000人であった。

（出所）国家プログラム「2014～2018年のカムチャツカ地方の農業の振興および農産物、原料、食糧市場の規制」

5. 林業

林業企業数	27社 従業員数：65人（2014年）
未加工木材生産量	11万2,600m ³ （2014年）（50位）
森林復元	データ非公開（2014年）

（出所）ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

6. 林業概況

カムチャツカ地方の森林フォンド総面積は4,421万8,800haである。保護林は1,296万7,600ha、生産林が2,208万6,900ha、予備林が916万4,300haを占める。

針葉樹林の平均蓄積量は1ha当たり44m³で、硬質広葉樹（主にダケカンバ）については58m³、軟質広葉樹林については65m³である。カムチャツカのタイガ地帯の平均蓄積量はツンドラ周辺地帯やタイガの疎林地帯よりも高いため、タイガ地帯の針葉樹林の平均蓄積量は147m³/ha、硬質広葉樹林が87m³/ha、軟質広葉樹林が80m³/haである。

ツンドラ周辺地帯やタイガの疎林地帯（コリヤクスク地区）には広葉樹林が多く、その総面積は42万100haである。ベニマツの成熟林と老齢林の平均蓄積量は52m³/haであり、針葉樹種の総蓄積量は2,624万m³である。

ダケカンバを中心とした硬質広葉樹林の総面積は31万2,000haである。成熟林と老齢林の平均蓄積量は82m³/haであり、硬質広葉樹種の総木材蓄積量は1,823万m³である。

軟質広葉樹林はシラカバ、ポプラ、ヤナギなどに代表される。軟質広葉樹林の総面積は26万500haである。成熟林と老齢林の平均蓄積量は100m³/haであり、硬質広葉樹種の総蓄積量は1,598万m³である。

カムチャツカ地方の林業の発展を妨げている主な原因是高額な輸送費、燃料費、インフラの欠

如、熟練労働力の不足などのために、生産コストが高いことである。

2012年、カムチャツカ地方の年間許容伐採量は267万9,500m³であったが、実際の木材加工量は17万5,590m³で、許容伐採量の7%だった。

カムチャツカ地方には7営林区があり、貸与されている地区の総面積は132万9,400haである。

(出所) 国連食糧農業機関「ロシア極東の林業調査」

(http://www.eastagri.org/meetings/docs/meeting100/AnnexII_forest%20resources_management_cert_RUS.pdf)

7. 水産業

水産加工品生産量	87万1,400トン（缶詰、飼料を除く） 缶詰6億5,000万個（2012年）
活魚・生魚漁獲量	104万7,500トン（2012年）
漁獲品目	スケトウダラ、マダラ、ニシン、サンマ、カレイ、オヒョウ、ホッケ、サケ属
栽培漁業 生産品目・生産量	鮭鱒（2014-2020年の国家プログラムの枠内でも14の鮭鱒孵化場の建設が予定されている）
企業数	水産業総数：約500社（漁獲：240社）（2012年）
従業員数	水産業総数：16,100人（2012年）
日本への輸出量	31万7,700トン（主に冷凍魚、冷凍の甲殻類、魚粉）（2012年）

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」、国家プログラム「2014-2020年のカムチャツカ地方水産分野の振興」

8. 水産業概況

カムチャツカ地方の水産分野は極東連邦管区およびロシア全体の漁業において重要な位置を占めている。漁獲量に占めるカムチャツカ地方の割合は極東連邦管区の36%、ロシア全体の24%を超えており、カムチャツカ地方の経済において水産業は重要な役割を果たしており、カムチャツカ地方の産業生産額の50%以上、輸出ポテンシャルの約86%を占める。ロシア極東連邦管区の漁業がおこなわれている地域で、水産業と経済がこれほど緊密に結びついている地域はないし、あるはずがない。例えば沿海地方や、サハリン州など、水産業は主要な役割を果たしているとはいえ、地域の産業構造は多様であり、少なくとも唯一の分野ではないからである。

言い換えると、カムチャツカ地方では水産分野の状況が、地方全体、中でも沿岸の居住地区の社会経済状況を決定付けていると言える。

水産分野がうまく機能している、その前提となっているのは、大陸棚の総許容漁獲量が200万トンと評価されるカムチャツカ半島周辺の海域であり、その資源量はロシア極東連邦管区の漁獲資源の65%に当たる。

漁獲される主な水生生物資源の品目は、スケトウダラ、マダラ、ニシン、サンマ、カレイ、オヒョウ、ホッケ、サケ属である。最も漁獲量が多いのは、スケトウダラを含むタラであり、（2012年漁獲量48万トン以上）、二番目に多いのはサケ属である（2012年漁獲量25万トン以上）。

カムチャツカ地方の経済に対する水産分野の意味を評価すると、20世紀末から21世紀初めにかけて、危機的な時期を経験したが、近年は、水生生物資源の漁獲量と水産製品の生産量が増大し、安定したよい変化がみられる。これは利用者に資源を長期的に割当てるなど、連邦あるいは地方の国家機関によって行われた戦略的決定と措置によって促進されたものである。

カムチャツカ地方の水生生物資源の漁獲量は、最近5年間、ロシア極東連邦管区およびロシア全体で第一位である。2012年の漁獲量は最近20年間で記録的水準に達し、104万8,000トンとなつた。

現在カムチャツカ地方では水産業を営む約500企業が操業しており、その内240企業は漁獲に

携っている。

カムチャツカ地方で水産業を営む最大の企業は公的株式会社「オケアンルイブフロート」、生産協同組合「V.I.レーニン名称コルホーズ」、有限会社「ポルクス」、株式会社「ベクレフ名称コルホーズ」、株式会社「オゼルノフスキーRKZ No.55」、有限会社「ビチャジ・アフト」、有限会社「ティムファツキー水産コンビナート」、有限会社「ウスチ・カムチャトロイバ」、漁獲同業組合「コルホーズ・クラスニー・トルジェニク」などである。

2012年にカムチャツカ地方の企業は生および冷蔵の魚18万3,700トンを生産した。この種の製品の生産と出荷は、主に小規模経営主体が行っている。また、2012年に、企業によって魚粉と缶詰を含む71万9,100トンの水産品が加工、製造された。ロシア全体の生産に占めるカムチャツカ地方の割合は20%である。

水産製品の一部は海外に輸出されている。カムチャツカの水産製品の主な消費国は韓国、中国、日本などのアジア太平洋諸国である。2012年カツチャツカ地方の企業によって31万7,700トンの魚と水産品が輸出された。主な輸出品目は冷凍の魚、冷凍の甲殻類、魚粉である。2012年に海外との輸出入に携わったカムチャツカ水産企業は57社である。

カムチャツカ地方はサンクトペテルブルク市、モスクワ市、トムスク州、モスクワ州、ノボシビルスク州、マガダン州、サハリン州、アルタイ地方、クラスノヤルスク地方、沿海地方、ハバロフスク地方などロシア国内にも水産食品を納入している。

住民1人当たりの水生生物資源の平均消費レベルは年々増加しており、2011年には1人当たり年間32.4kgになった。

(出所) 国家プログラム「2014-2020年のカムチャツカ地方水産分野の振興」

9. 2013年産業別GRP

農業・林業	漁業	鉱業	加工業	電気・ガス・水道業	建設業	卸売・小売業	ホテル・レストラン
3.4%	12.6%	3.2%	10.0%	6.7%	4.8%	10.1%	1.2%
運輸・通信	金融業	不動産業	政府・軍関係	教育関連	ヘルスケア及び行政サービス	他の社会・個人サービス	
7.9%	0.1%	5.8%	18.0%	5.7%		8.7%	1.8%

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

10. 国家プログラム

(1) 農業

タイトル	国家プログラム「2014~2018年のカムチャツカ地方の農業の振興および農産物、原料、食糧市場の規制」		
国家プログラム 履行責任者	カムチャツカ地方 農業・食品工業・加工業省		
期間	2014年~2018年	予算	6,797,794,620ルーブル
目的	<ul style="list-style-type: none">カムチャツカ地方住民に対し、手頃な価格で、安全な品質の地場食品をより多く供給すること国内市場における地場食品の競争力を向上させること農村部における小規模農業ビジネスの振興、製品販売量の増加、農村住民の雇用と収入の向上農業分野の生産機械・技術の近代化により、農業生産の効率と農業製品の競争力を上げること。技術開発の振興と投資の誘致を促進できる良好な経済環境を整備すること。		

	<ul style="list-style-type: none"> ● カムチャツカ地方の農業部門の商品生産者の経済面の安定を保証すること ● カムチャツカ地方の農業における土地資源、その他の資源の再生産と利用効率の向上、生産環境の整備 ● カムチャツカ地方農村部の居住地区の社会インフラの発展水準と技術基盤整備の水準を上げることにより、農村部で暮らす市民の生活の水準と質を向上させること ● 人間と動物に共通のものを含めた動物の伝染病について、カムチャツカ地方が安全であること
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 農業分野の主要生産品の生産増大を促進すること ● 農業生産の機械装備の更新に対する支援 ● 個人事業主を含め農業分野の組織の指導者と専門家の質の向上、組織的課題と生産課題の解決のための職業的技能の向上 ● 農業における採算性の向上 ● 農業分野の技術開発業務の促進と技術開発の振興 ● 土壤肥沃度の保全と再生のための環境の整備、農業用地の効率的利用の促進 ● 農業用地の土地改良の振興 ● カムチャツカ地方の農村部に居住する市民の住環境の改善、農村部の若年家庭と若年専門家に手頃な住居を確保すること ● カムチャツカ地方農村部にある居住地区の社会発展と技術基盤整備の水準の向上 ● 人間と動物に共通の病気の予防と住民の保護
プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農産の振興と農業用地の土地改良の振興 2. 畜産の振興 3. 食品工業、加工業の振興 4. カムチャツカ地方農業分野の機械および技術の近代化、技術開発の振興 5. 農業地域の安定的な発展 6. 小規模経営形態の振興 7. カムチャツカ地方農業分野の人材ポテンシャルと情報供給レベルを上げること 8. 家畜伝染病面と家畜衛生面の安全の確保 9. 国家プログラムの実現

(2)林業

タイトル	国家プログラム「2016年～2020年のカムチャツカ地方領域内の林業の振興および動物界の保護と再生」		
国家プログラム 履行責任者	カムチャツカ地方 林業・動物界保護局		
期間	2016～2020年	予算	2,765,652,369 ルーブル
目的	カムチャツカ地方の森林資源および狩猟製品に対する社会の需要を安定的に満すために、森林を効率的・安定的に管理し、狩猟資源を合理的に利用し、保全すること		
課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現実に即した森林資源の評価と集約的な森林利用の実現 2. カムチャツカ地方内に森林火災の予防、発見、消火の効果的システムを創設し、森林火災による社会的・経済的損失を最小化すること 3. 森林において病気と有害生物の発生を予防し、発生地を限定し、撲滅すること 4. 森林関係の違法行為の摘発を増やすこと 5. 森林の消滅と再生のバランスをとること、森林の生産性と品質を向上させること 6. カムチャツカ地方内の動物界の保全と再生 7. カムチャツカ地方の林業施設の物的・技術的基盤の強化 8. カムチャツカ地方内の林業分野において効率的な管理をおこなうこと。動物界 		

の保全および再生	
プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 森林の利用 森林の保全および保護 森林の再生 動物界および狩猟資源の再生と保全 国家プログラムの実現

(3)水産業

タイトル	国家プログラム「2014-2020年のカムチャツカ地方の水産分野の振興」		
国家プログラム 履行責任者	カムチャツカ地方漁業省		
期間	2014年～2020年	予算	6,176,688,531 ルーブル
目的	水生生物資源の保全、再生、合理的利用によって、また、ロシア市民が手に入れやすいカムチャツカ製品の競争力を高めることによって、カムチャツカ地方経済の基盤である水産分野の安定的な発展のための環境を整備すること		
課題	<ul style="list-style-type: none"> カムチャツカ地方における漁業資源の基盤を保全し、増大させること 沿岸水産加工分野の発展のための環境を整備すること 水産分野の実務関係の専門家とスタッフを確保すること カムチャツカ地方の水産分野を管理する国家権力機関が効率的に業務を行うこと 		
プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 栽培漁業の振興 沿岸水産加工分野の振興 水産分野の人材ポテンシャルの向上 プログラムの実現 		

III 沿海地方 (Primorsky krai)

1. 一般事情

面積	16 万 4,700 km ²
人口	193 万人 (2015 年)
首都	ウラジオストク (Vladivostok)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」



2. 経済

主要産業	運輸・通信 (20.5%)、卸売・小売業 (18.8%)、不動産業 (10.4%)
域内総生産(GRP)	5,756 億ルーブル (2013 年)
消費者物価指数	112% (2014 年 12 月前年同月比)
失業者数	7 万 2,900 人 (失業率 6.9%) (2014 年)
貿易額	・輸出 : 52 億 6,490 万ドル ・輸入 : 76 億 4,650 万ドル
主要貿易品目	・輸出 : 燃料エネルギー製品 (67%)、魚・海産物 (12%)、木材 (7%)、金属・金属製品 (4%)、機械・設備・輸送機器 (3%) ・輸入 : 機械・設備・輸送機器 (49%) 食料品・農産原料 (13%)、繊維・繊維製品・靴 (8%)、化学工業製品 (11%)、金属・金属製品 (8%)、 (2014 年) (出所) 2014 年の沿海地方の対外経済活動
主要貿易相手国	・輸出 : 中国、韓国、日本、アメリカ ・輸入 : 中国、韓国、日本、アメリカ (2014 年の沿海地方の対外経済活動)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」、沿海地方政府統計局「数字で見る沿海地方 2014 年」

(<http://primstat.gks.ru>)

3. 農業

農業生産額	351 億ルーブル (2015 年)
農地面積	作付面積 : 42 万 3,900 ha(2014 年)
主要農畜産物 生産量 (2015 年)	穀物 : 30 万 7,300 トン 大豆 : 26 万 2,000 トン ジャガイモ : 40 万 900 トン 野菜 : 6 万 800 トン 食肉 : 3 万 6,300 トン 牛乳 : 12 万 3,700 トン 鶏卵 : 3 億 4,750 万個 はちみつ : 4,800 トン
畜産(頭数)	牛 : 6 万 6,500、豚 13 万 3,500、羊及び山羊 : 3 万 4,600 (2015 年)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

ab-centre 「ロシア各地域の農業」 (<http://ab-centre.ru/page/selskoe-hozyaystvo-regionov-rossii>)

4. 農業概況

主要農産物としては大豆、穀物、ジャガイモ、食肉、牛乳、鶏卵などがある。畜産分野では牛、豚、羊、山羊の飼育が行われている。特に大豆、米、毛皮獸飼育の分野は、ロシア国内でも有数である。

農産物の大部分は沿海地方の食品加工工場において加工されている。沿海地方の食品加工業には、果実・野菜加工、製パン、製菓、油脂加工、製糖、食肉加工、チーズ製造、乳製品加工などの分野がある。

(出所) all.biz 「ロシアの地域の農業」 (<http://www.ru.all.biz/selskoe-hozyajstvo-primorskij-kraj-srd60025>)

2015 年の沿海地方の農業生産額は約 351 億ルーブルで、ロシア全体の農業生産額の 0.7%に当たり、ロシアの 85 地域中 46 位である。人口 1 人当たりの農業生産額は 1 万 8,200 ルーブルであり、ロシアの地域の中で 65 位である。

2015 年の沿海地方の農業では、農産物が 52.8%、畜産物が 47.2%を占める。

沿海地方は 2014 年 (377 億ルーブル) より 2015 年の農業生産額が減少した数少ない地域の一つである。

2015 年の大豆生産量は 26 万 2,000 トンで、ロシア全体の 9.7%を占め、全国 3 位である。米の生産量は 5 万 700 トンでロシア全体の 4.6%を占め、全国 4 位である。またインゲン (300 トン、4.4%、9 位)、スイカ・かぼちゃ類 (5,600 トン、0.8%、12 位)、露地栽培の野菜 (4 万 7200 トン、1.0%、16 位)、トウモロコシ (18 万トン、1.4%、16 位) などの生産量についても上位を占めている。

沿海地方の作付面積は 41 万 3,700 ha でロシア全体の 0.5%を占め、全地域中 41 位である。作付面積の構成は、大豆 53.9%、トウモロコシ 8.6%、米 5.0%、燕麦 4.6%、小麦 4.4% となっている。

沿海地方のハチミツ生産量は極東連邦管区の生産量の 60%占め、ロシアの地域の第 4 位である。2015 年には中国向けなど輸出も増加している。

2015 年、沿海地方の畜産製品生産額は 166 億ルーブルで、ロシア全体の 0.7%に当たり、全地域中 52 位である。食肉生産量 3 万 6,300 トンの内、鳥肉が 2 万 600 トン (0.5%、44 位)、豚肉が 1 万 400 トン (0.3%、54 位)、牛肉 4,600 トン (0.3%、65 位)、羊・ヤギ肉 300 (0.1%) トンとなっている。また鶏卵生産量は 3 億 4,750 万個 (0.8%、36 位) で 2014 年より 4,490 万個 (14.8%) 増大した。牛乳生産量は 12 万 3,700 トン (0.4%、62 位) となり過去 12 年で最高になった。

(出所) ab-centre 「ロシア各地域の農業」 (<http://ab-centre.ru/page/selskoe-hozyaystvo-regionov-rossii>)

5. 林業

林業企業数	271 社 (2014 年)
未加工木材生産量	418 万 7,000 m ³ (2014 年)
森林復元	1 万 4,000 ha (2014 年)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

6. 林業概況

沿海地方はロシアの南東端、極東連邦管区の最南部にあり、西は中国、南は韓国と国境を接し、東は日本海に面している。

沿海地方はアムールトラ、極東ヒョウ、ロシア極東のベニマツ・広葉樹林を保護し、生物多様性を保全する義務を負っており、ロシア連邦で特別自然保護地域に指定された土地の割合が高い地域の一つである。165万 6,800 haの特別自然保護地域がある。特別自然保護地域には国家自然保護区、国立公園、自然公園、禁漁区などが含まれる。

森林フォンド総面積は1,195万 5,300 haであり、保護林は461万 200 ha (34.5%)、生産林が876万 200 ha (65.5%) を占める。森林フォンドには生産林の99%と保護林の71.2%が含まれ、森林面積は1,148万 4,200 haである。

2012年、沿海地方の森林蓄積は約17億 5,280万 m³である。

トウヒとトドマツを中心とする針葉樹林の面積は293万 8,700 haで、森林蓄積は5億 2,663万 m³である。ベニマツと広葉樹の林は215万 6,200 haを占め、森林蓄積は4億 1,780万 m³であり、ナラが209万 3,400 haを占め、蓄積は2億 2,749万 m³である。それに次いでカラマツ、シラカバ、ダケカンバ、トネリコなどが多くの面積を占めている。各営林区の樹種の割合の違いは、利用条件、経済活動、森林火災などの影響を受けている。ナラの割合は南部と中央部で高くなっている。

生産林の総森林蓄積は12億 8,804万 m³であり、最も蓄積が大きいのは北部と中央部である。針葉樹林が生産林総面積の60%、蓄積の69%を占めており、硬質広葉樹は総面積の24%、蓄積の19%を、また軟質広葉樹は総面積の16%、蓄積の12%を占めている。針葉樹林の大部分が北部にあり、広葉樹は主に極東管区の南部に集中している。

沿海地方の森林は極東管区において最も生産性が高い。成熟林と老齢林の平均蓄積は針葉樹が195 m³/ha、硬質広葉樹と軟質広葉樹が175 m³/haとなっている。

2012年の年間可能伐採量は沿海地方で718万 3,000 m³であったが、実際の木材加工量は377万 4,854 m³で可能伐採量の51%であった。沿海地方には11の営林区があり、貸与されている森林総面積は985万 9,200 haである。

(出所) 国家プログラム「沿海地方の林業の振興」、国連食糧農業機関「ロシア極東の林業調査」

(http://www.eastagri.org/meetings/docs/meeting100/AnnexII_forest%20resources_management_cert_RUS.pdf)

7. 水産業

水産加工品生産量	64万 2,900トン (ロシア全体の17.6%) (2014年: 国家統計委員会)
活魚・生魚漁獲量	57,600トン (2014年: 国家統計委員会)
漁獲品目	スケトウダラ (63%) ニシン (21%) (2013年)
生産額	300億ルーブル、GRPの5% (2013年)
栽培漁業 生産品目・生産量	ホタテ 1,517トン、ワカメ 645トン、イガイ 106トン、ナマコ 464トン、カキ 5トン 合計 2,737トン (2013年)
企業数	水産: 377社 養殖: 80社 (2014年)
従業員数	水産: 10,074人 養殖: 448人 (2014年)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」、沿海地方政府「沿海地方の水産業」

(<http://www.primorsky.ru>)

8. 水産業概況

2013年、極東連邦管区は、活魚・生魚・冷蔵魚の生産ではロシアの82%、水産加工製品、水産缶詰の生産では59%を占めている。中でも沿海地方は、極東連邦管区の地域中、水産缶詰の生産で1位、活・生・冷蔵魚の生産ではカムチャツカ地方、サハリン州に次いで3位、水産加工品生産ではカムチャツカ地方に次いで2位を占める。

また、水産加工生産については、沿海地方の食品加工製品の74%を占めている。

極東に強大な原料基盤を持ち、水域の気候条件がよく、シベリア横断鉄道に続く不凍漁港と労働力があるため、沿海地方はロシア水産業において主要な位置を占めている。漁業（沿岸漁業と遠洋漁業）、養殖、水産加工が行われている。2013年の生産額は300億ルーブルでGRPの5%を占めている。

主な漁業基地はウラジオストク、ナホトカなどに集中している。

2013年、魚と水産品の輸出額は8億2,520万ルーブルであり、前年比16%増加し、沿海地方の輸出総額の19%を占めた。輸出品の割合は「生・冷凍魚」69%、「肝、魚卵、白子」12%、「甲殻類」12%、「フィッシュ・ミール」4%、「魚フィレ」2%、「軟体動物」1%となっている。

最近5年間に食料品の消費者物価が1.4倍に、なかでも水産製品の消費者価格は1.6倍に上昇した。

沿海州では近年人口一人当たりの魚の需要が推奨基準を上回って増大し、極東全体の需要を3.9kg上回って30.9kgとなった（ロシア全体の1.8倍）。最も需要があるのは冷凍魚、塩蔵・燻製の魚、安価な魚缶詰である。

今後の沿海地方の水産業の発展のためには、水産製品の生産の増加、水産品の高度の加工、海外への輸出、投資が必要であるが、2000年には沿海地方の経済に対する大・中企業の投資全体の8%を占めていた水産業への投資が、2013年には0.7%まで減少している。

（出所）国家プログラム「沿海地方の水産業の振興」

9. 2013年産業別GRP

農業・林業	漁業	鉱業	加工業	電気・ガス・水道業	建設業	卸売・小売業	ホテル・レストラン
4.2%	4.2%	1.0%	9%	3.8%	5.9%	18.8%	1.5%
運輸・通信	金融業	不動産業	政府・軍関係	教育関連	ヘルスケア及び行政サービス	その他の社会・個人サービス	
20.5%	0.4%	10.4%	9.4%	3.9%		5.3%	1.7%

（出所）ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

10. 国家プログラム

（1）農業

タイトル	国家プログラム「2013～2020年の沿海地方における農業振興および農産物、原料、食糧市場の規制」		
プログラム 履行責任者	沿海地方 農業・食糧局		
期間	2013年～2020年	予算	12,387.06百万ルーブル
目的	1. ロシア連邦の食糧安全保障ドクトリンの計画された指標に基づき、地域の食糧の自給自足を目指す 2. 上質かつ安全な農産物の提供		

	<p>3. ロシアの世界貿易機関（WTO）に加盟した背景から、地方内・外の市場での農産品・食品の競争力の増加。沿海地方の農業製造業と加工業の財政的持続性の強化</p> <p>4. 農村部の持続的発展と生活の質の向上</p>
課題	<p>1. 高品質の農産物の生産・加工量の増加</p> <p>2. 地力の維持と復元、農業目的の土地の効率的かつ合理的な利用の促進</p> <p>3. 沿海地方の農地の開墾</p> <p>4. 農業機械と技術の近代化を通じて生産性の向上。主な農業関連の基金の更新や創設</p> <p>5. 沿海地方の農業の投資の増加</p> <p>6. 小規模農家、園芸、家庭菜園の組合や会の発展と個人事業主の水準の向上</p> <p>7. 沿海地方における家畜や家禽の増加</p> <p>8. 農業食品市場のインフラや生活協同組合の発展</p> <p>9. 農村の生活の質、社会的インフラの発展と農村集落におけるエンジニアリング配置の改善</p> <p>10. 農村部の社会・人口的状況の改善、労働市場の拡大、農村部における労働人口を増加し、さらに維持</p>
プロジェクト	<p>1. 農業機械・技術の近代化と農業関連施設の革新的発展</p> <p>2. 財政的リスクの減少と財政的持続性の強化</p> <p>3. 地力の維持と向上。休耕地と緑地を新たに農業目的で使用するための手引き</p> <p>4. 沿海地方の農地の開墾</p> <p>5. 作物と作物加工の振興</p> <p>6. 畜産業の振興、家畜優良育種の発展、家畜の総合的衛生、畜産物加工業の発展</p> <p>7. 小規模農家、園芸家、家庭菜園の組合や会の支援</p> <p>8. 国家プログラム「沿海地方における農業振興および農産物、原料、食糧市場の規制」の実現に向けた実務的部署の機能の達成</p> <p>9. 沿海地方の農村の持続可能な開発</p> <p>10. 卸売・配布センターと社会的食糧均等配分システムのインフラの発展</p>

(2) 林業

タイトル	国家プログラム「2013年～2020年における沿海地方における林業の振興」		
プログラム 履行責任者	沿海地方 林業局		
期間	2013年～2020年	予算	285,957,640 ルーブル
目的	<p>1. 森林の利用、保全、保護の効率の向上</p> <p>2. 資源・環境ポテンシャルを確実に維持しつつ、森林資源と森林の有益な機能に対する社会の需要に安定的に応えること</p> <p>3. 国家森林管理の効率向上のための環境整備</p>		
課題	<p>1. 国による森林管理の効率を上げ、申請者に対するサービス提供の品質を上げ、業務遂行の質を向上させること</p> <p>2. 連邦国家森林管理（森林保全）、森林火災の監視、森林資源利用の管理の効率向上</p> <p>3. 森林火災の予防、発見、消火の効率向上、森林火災によって社会や環境が被る損害の最少化的</p>		

(3)水産業

タイトル	国家プログラム「2013-2017 年の沿海地方における水産業の振興」		
プログラム 履行責任者	沿海地方 漁業・海洋生物資源局		
期間	2013 年～2017 年	予 算	887,994,390 ルーブル
目的	1. 高度に加工した競争力のあるロシアの水産製品の製造と販売を拡大し、輸入製品に替えて国内市場に集約的に国産製品を導入すること 2. 高度に加工した水産製品の輸出の拡大 3. 活魚、生魚、冷蔵魚を含む水産製品に対する人口一人当たりの需要の増大		
課題	1. 新しい主要生産施設の建設、既存の主要生産施設の設備更新と近代化 2. 企業活動を振興し、沿海地方水産業のよいイメージを作ること 3. 水産品販売を最適化する効率的な市場メカニズムの強化 4. 効率的な国家管理		

タイトル	国家プログラム「沿海地方の水産業の振興」		
プログラム 履行責任者	沿海地方 漁業・海洋生物資源局		
期間	2013 年～2020 年	予 算	1,238,897,710 ルーブル
目的	1. ロシアの水産製品の製造と販売を拡大し、輸入製品に替えて国内市場に集約的に国産製品を導入すること 2. 国内市場と国際市場においてロシア水産品の競争力を増大させること		
課題	1. 新しい主要生産施設の建設、既存の主要生産施設の設備更新と近代化 2. 企業活動を振興し、沿海地方水産業のよいイメージを作ること 3. 水産品販売を最適化する効率的な市場メカニズムの強化 4. 効率的な国家管理		

IV ハバロフスク地方 (Khabarovsky krai)

1. 一般事情

面積	36 万 1,900 km ²
人口	133 万 4,500 人 (2015 年末)
首都	ハバロフスク (Khabarovsk)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」



2. 経済

主要産業	運輸・通信 (21.2%)、卸売・小売業 (14%)、政府・軍関係 (10.8%)
域内総生産(GRP)	4,736 億 9,520 万ルーブル (2013 年)
一人当たり GRP	35 万 3,241 ルーブル (2013 年)
消費者物価指数	111.8% (2014 年 12 月前年同月比)
失業者数	4 万 3,900 人 (失業率 6.9%) (2014 年)
貿易額	<ul style="list-style-type: none">輸出 : 16 億 8,170 万ドル (2014 年)輸入 : 8 億 50 万ドル (2014 年)
主要貿易品目	<ul style="list-style-type: none">輸出 : 食料品・農産原料 (12.7%)、燃料・エネルギー製品 (28.9%)、木材・パルプ・製紙製品 (40.9%)、金属・金属製品 (15.2%)輸入 : 食料品・農産原料 (5.5%)、化学工業製品・ゴム (6.6%)、繊維・繊維製品 (2.5%)、金属・金属製品 (7.6%)、機械・設備・輸送機器 (69.0%) <p>(2014 年 : 国家統計委員会)</p>
主要貿易相手国	<ul style="list-style-type: none">輸出 : 中国、韓国、タイ、日本、アメリカ、ドイツ輸入 : 中国、アメリカ、フランス、韓国、ドイツ、オーストリア、イタリア、日本

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

3. 農業

農業生産額	207 億 5,830 万ルーブル (農産物 112 億 7,290 万ルーブル、畜産物 94 億 8,540 万ルーブル) (2014 年)	
農地面積	<p>作付面積 : 8 万 3,800 ha (2014 年)</p> <p>内訳 : 穀物 9,500 ha、工芸農作物 2 万 4,400 ha、ジャガイモ・野菜 2 万 1,200 ha、飼料用作物 2 万 8,700 ha</p>	
主要農畜産物 生産量 (2014 年・ 国家統計委員会)	穀物 : 1 万 9,300 トン 大豆 : 3 万 3,600 トン ジャガイモ : 28 万 700 トン 露地栽培の野菜 : 6 万 200 トン	食肉 : 2 万 1,200 トン 牛乳 : 4 万 3,400 トン 鶏卵 : 3 億 1,450 万個
畜産(頭数)	牛 22,100、豚 52,600、羊・ヤギ 7,100、鳥 189 万 7,400 (2014 年)	

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

4. 農業概況

ハバロフスク地方の農業生産は厳しい自然気象条件の中で行われている。耕地面積の30%以上で土地改良がおこなわれている。農業生産は域内総生産の約4%を占める。

農業生産は事実上ハバロフスク地方全域で行われているが、主要地域は南部である。牛、豚の飼育は全域で行われており、北部ではトナカイの飼育が行われている。ハバロフスク市とコムソモーリスク・ナ・アムーレ市の周辺に、機械化された養鶏、養豚、酪農場が建設されている。

主な農産物は穀物、大豆、ジャガイモ、野菜であるが、ジャガイモ、野菜の大部分（90%）は個人副業農園で栽培されている。

（出所）all.biz「ロシアの地域農業」(<http://www.ru.all.biz/selskoe-hozyajstvo-habarovskij-kraj-srd60027>)

5. 林業

森林蓄積	51億m ³ （ロシアの6.6%、極東の25.5%）
原木生産量	約583万1,000m ³ （2014年）
木材製品生産額	249億9,000万ルーブル（2014年）
木材輸出額	5億8,200万ドル（2014年）
森林復元	5万8,400ha（内人口植林5211ha）

（出所）ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」、ハバロフスク地方政府「ハバロフスク地方の林業」(<http://www.adm.khv.ru>)

6. 林業概況

森林は産業、社会のさまざまな需要を満たす再生可能な天然資源の一つであり、重要な環境保護機能と環境形成機能を果たしている。ロシア連邦の森林資源保有量の7%と森林資源開発ポテンシャルを持ちながら、ハバロフスク地方は木材加工については極東の他の地域に遅れをとっている、利用しているのは利用可能量の30%に満たない。

森林はハバロフスク地方の67%を占め、森林フォンド総面積は7,370万haであり、その70%に当たる510万haが森林である。生産林は約40.5%、保護林が14.5%、予備林が45%を占める。針葉樹林が73.2%、硬質広葉樹林が2.9%、軟質広葉樹林が23.9%を占める。森林蓄積は約50億m³、その内30億m³が針葉樹である。ハバロフスク地方には300種類以上の樹木と灌木が分布している。主要な樹木はカラマツとエゾマツである。カラマツ林が森林の63%を占める。極東種のトウヒの半数以上、アムールキハダ、イチイ、マンシュウクルミ、チョウセンゴミシ、サルナシなどの貴重な樹木も分布している。北部、中央部、東部には針葉樹が多く、南部には広葉樹が多い。

生産林の森林蓄積は針葉樹が20億1,998万m³、軟質広葉樹が2億4,378万m³、硬質広葉樹が1億783万m³である。

生産林は主にハバロフスク地方の中央部と南部に位置する。成熟林と老齢林のトウヒの平均保有量は186m³/ha、カラマツ157m³/ha、カシ111m³/ha、ダケカンバ156m³/haとなっている。

最近5年間の年間木材加工量は700万m³から900万m³の間を変動した。2012年の年間可能伐採量は2,507万8,000m³林であったが、実際の木材加工量は693万9,600m³で年間可能伐採量の27%であった。ハバロフスク地方には40の営林区がある。

（出所）国家プログラム「ハバロフスク地方の林業の振興」、国連食糧農業機関「ロシア極東の林業調査」(http://www.eastagri.org/meetings/docs/meeting100/AnnexII_forest%20resources_management_cert_RUS.pdf)

7. 水産業

漁獲量	31万5,100トン（2015年）
水産加工品生産量	25万8,200トン（164憶ルーブル）（2015年）
漁獲品目	鮭鱈、ニシン、スケトウダラ、マイワシ、サンマ、カレイ、（2015年）
企業数	水産：427 養殖：20（2014年）
従業員	水産：2,985人（2014年）

（出所）2016年4月6日付太平洋の星紙（現地報道）「ハバロフスク地方漁業委員会長と知事の談話」

（https://www.toz.khv.ru/archive/?ELEMENT_ID=124029）

8. 水産業概況

水産業の生産額は産業生産の5%以下であるが、食料の供給、北部地域などの雇用創出の面で重要な役割を果たしているが、ハバロフスク地方の水産企業の多くは中小企業である。

漁獲の約70%はスケトウダラ、ニシン、ヒラメ、タラ、カレイ、イカ、エビ、カニなど海洋漁業であり、30%弱が河川などを含む沿岸漁業（鮭鱈、産卵期のニシン、シシャモ、チカ、カニ、イカ、ワカメ、淡水魚）である。

年間8,800万匹の稚魚の養殖能力を持つ7カ所（国有3、私有4）の鮭鱈養殖場が操業している。最近5年間の稚魚の平均養殖数は6,950万匹あまり多くない（サハリン州8億匹以上）。

ワニノ地区ダッタ村に2006年から操業している水産缶詰工場がある。

漁業には65隻ほどの船が使われているが、その80%以上は25年以上使用されており、更新の必要がある。全船による一日当たりの漁獲、冷凍能力は2,700～2,800トンであり、ニシンや鮭鱈の群来の時期には特に不足する。

製品の半分以上は韓国、中国、日本などアジア太平洋地域に輸出される。魚フィレやスケトウダラのすり身など高付加価値製品が輸出に占める割合が年々増えている。人口一人当たりの魚・水産製品に対する需要が増えており、2012年には年間27kgとなった。（ロシア全体では17.1kg）

生物資源の減少、船団の老朽化と資金面での更新の難しさ、産卵期のニシンの受け入れのための冷凍・冷蔵設備の不足、高付加価値製品生産用の原料と設備の不足、国内市場への輸送システムの不備など多くの問題がある。

（出所）国家プログラム「ハバロフスク地方の水産業の振興」

9. 2013年産業別GRP

農業・林業	漁業	鉱業	加工業	電気・ガス・水道業	建設業	卸売・小売業	ホテル・レストラン
4.4%	1.4%	5.7%	7.8%	4.9%	6.9%	14%	1.1%
運輸・通信	金融業	不動産業	政府・軍関係	教育関連	ヘルスケア及び行政サービス	その他の社会・個人サービス	
21.2%	0.3%	8.6%	10.8%	5.2%		6%	1.7%

（出所）ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

10. 国家プログラム

(1) 農業

タイトル	国家プログラム「2013～2020年ハバロフスク地方における農業振興および農産物、原料、食糧市場の規制」		
プログラム 履行責任者	ハバロフスク地方 農業・食糧局		
期間	2013年～2020年	予算	11,362.94 百万ルーブル
目的	1. 安全かつ高品質な農産物の提供 2. 農地の効率的な利用と耕作面積 農 の増加 3. 農産物の革新の振興のための環境の整備 4. 農村地域持続可能な開発のための環境の整備		
課題	1. 主要な農産物の生産と食品の生産の増加促進 2. 地力の維持と復元のための環境整備、農地の有効利用の促進 3. 農業生産の革新的な開発の促進 4. 農村部の小規模農家の支援 5. 地方内の農村部の持続的な発展		
プロジェクト	1. 作物振興 2. 畜産振興 3. 食品加工産業の発展 4. 農業機械と技術の近代化 5. 農産物の革新的発展		

(2) 林業

タイトル	国家プログラム「ハバロフスク地方の林業の振興」		
プログラム 履行責任者	ハバロフスク地方政府 森林局		
期間	2013年～2020年	予算	6,573,098,480 ルーブル
目的	1. 森林の利用、保全、保護、再生の効率の向上 2. 森林の資源・環境ポテンシャルを確実に維持しながら、森林の資源に対する社会の需要、また環境保全、保健衛生、保護、環境形成などの森林の機能（以下森林の機能とする）に対する社会の需要に安定的に応えること		
課題	1. 森林の保全と保護、再生 2. 効率的な森林利用を実現し、森林の資源と森林の機能に対する社会の需要に安定的に応えること		
プロジェクト	1. 火災の危険性の監視と森林火災消火の効率的なシステムの創設 2. 森林火災の発生、拡大の警告と予防 3. 森林を有害動植物から保護する効率的なシステムの創設 4. 効率的な森林再生 5. 森林利用の実現 6. 営林区による森林の利用		

(3)水産業

タイトル	国家プログラム「ハバロフスク地方の水産業の振興」		
プログラム 履行責任者	ハバロフスク地方 天然資源省		
期間	2014年～2020年	予 算	4,423,840,520 ルーブル
目的	1. 海洋生物資源の保全、再生産、合理的利用に基づく、安定的な水産業の振興 2. 水産関連企業と個人事業者によって生産される商品とサービスの競争力の確保		
課題	1. 養殖漁業と海洋生物資源再生産の振興 2. 海洋生物資源の沿岸加工の振興 3. 水産関連企業と農業製品生産者である個人事業者に対する国家支援の供与 4. その実施のために地方が支払い義務を負う権限、ロシア連邦構成主体に対する統一補助金が利用される権限など、ロシア連邦から移譲された海洋生物資源の形成、管理、保護分野の地方国家機関の権限の履行効率を上げること		
プロジェクト	1. 水産関連施策の策定と実施 2. 水産業の組織と支援		
タイトル	国家目的別プログラム「ハバロフスク地方の水産業の振興」		
プログラム 履行責任者	ハバロフスク地方 天然資源省		
期間	2012年～2020年	予 算	469,505,840 ルーブル
目的	1. 海洋生物資源の保全、再生産、合理的利用に基づく、安定的な水産業の振興 2. 水産関連企業によって生産される商品とサービスの競争力の確保		
課題	1. 養殖漁業と海洋生物資源再生産の振興 2. 新しい水産加工施設と水産品保管施設の建設、稼働中の水産加工施設と水産品保管施設の設備更新と近代化 3. 漁船団の近代化と近代的漁船団の構成 4. 海洋生物資源の沿岸加工の振興		
プロジェクト	1. 連邦目的別プログラム実施の枠内での養殖場の建設 2. 養殖施設と市場向け養殖施設の建設 3. 稼働中の養殖場の持続的な発展 4. 水産関係組織と農業製品生産者である個人事業者に対する補助金供与の形態での国家支援 5. 海洋生物資源の形成、管理、保護分野の権限履行のための連邦から地方への補助金による漁業政策の実施		

V アムール州 (Amurskaya oblastj)

1. 一般事情

面積	36 万 1,900 km ²
人口	80 万 5,700 人 (2016 年 1 月 1 日現在)
首都	ブラゴベーシェンスク (Blagoveschensk)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」



2. 経済

主要産業	運輸・通信業 (21.7%)、卸売・小売業 (12.0%)、鉱業 (11.6%)、政府・軍関係 (10.3%)
域内総生産(GRP)	2,112 億 2,440 万ルーブル (2013 年)
消費者物価指数	110.5% (2014 年 12 月前年同月比)
失業率	5.6% 失業者数 24,000 人 (2014 年)
貿易額	<ul style="list-style-type: none"> 輸出 : 3 億 8,340 万ドル 輸入 : 5 億 110 万ドル
主要貿易品目	<ul style="list-style-type: none"> 輸出 : 燃料・エネルギー製品 (2 億 280 万ドル)、木材・パルプ・製紙製品 (4,250 万ドル)、食料品・農産原料 (980 万ドル)、金属・金属製品 (510 万ドル)、木材・パルプ・製紙製品 (90 万ドル)、化学工業製品・ゴム (40 万ドル) 輸入 : 機械・設備・輸送機器 (2 億 3,240 万ドル)、食料品・農産原料 (3,960 万ドル)、化学工業製品・ゴム (3,700 万ドル)、金属・金属製品 (3,080 万ドル)、木材・パルプ・製紙製品 (570 万ドル)、燃料・エネルギー製品 (330 万ドル)
主要貿易相手国	<ul style="list-style-type: none"> 輸出 : 中国、モンゴル、ドイツ、韓国、日本、カザフスタン共和国、ウクライナ 輸入 : 中国、フィンランド、ドイツ、韓国、米国、カナダ、日本、台湾、フィリピン、イタリア <p>(2013 年) (アムール統計局) (アムール州の貿易高データ)</p>

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

3. 農業

農業生産額	442 億 8,000 万ルーブル (2015 年)								
農地面積	作付面積 : 116 万 5,100 ha (2015 年国家統計委員会)								
主要農畜産物 生産量 (2015 年)	<table> <tr> <td>穀物 : 35 万 1,000 トン</td> <td>食肉 : 4 万 1,500 トン</td> </tr> <tr> <td>大豆 : 100 万 2,000 トン</td> <td>牛乳 : 14 万 8,600 トン</td> </tr> <tr> <td>ジャガイモ : 28 万 6,600 トン</td> <td>鶏卵 : 2 億 3,100 万個</td> </tr> <tr> <td>野菜 : 6 万 9,700 トン</td> <td>ハチミツ : 836 トン</td> </tr> </table>	穀物 : 35 万 1,000 トン	食肉 : 4 万 1,500 トン	大豆 : 100 万 2,000 トン	牛乳 : 14 万 8,600 トン	ジャガイモ : 28 万 6,600 トン	鶏卵 : 2 億 3,100 万個	野菜 : 6 万 9,700 トン	ハチミツ : 836 トン
穀物 : 35 万 1,000 トン	食肉 : 4 万 1,500 トン								
大豆 : 100 万 2,000 トン	牛乳 : 14 万 8,600 トン								
ジャガイモ : 28 万 6,600 トン	鶏卵 : 2 億 3,100 万個								
野菜 : 6 万 9,700 トン	ハチミツ : 836 トン								
畜産(頭数)	牛 82,100、豚 70,300、鳥 220 万 4,300、トナカイ 6,700 (2016 年年初)								

(出所) ab-centre 「ロシア各地域の農業」 (<http://ab-centre.ru/page/selskoe-hozyaystvo-regionov-rossii>)

4. 農業概況

農業の主要分野は穀物栽培、畜産、大豆の栽培である。

州北部ではトナカイの飼育、南東部および中部で養蜂業、森林部で毛皮獸の狩猟、北部で毛皮獸の飼育が行われている。

アムール州はロシア最大の大豆生産地である。

(出所) all.biz 「ロシアの地域農業」 (<http://www.ru.all.biz/selskoe-hozyajstvo-amurskaya-obl60028>)

2015 年のアムール州の農業生産額は約 442 億ルーブルで、ロシア全体の農業生産額の 0.9%に当たり、ロシアの 85 地域中 38 位である。

2015 年のアムール州農業では、農産が 69.7%、畜産が 30.3%を占める。

人口 1 人当たりの農業生産額は 54700 ルーブルであり、ロシアの地域の中で 18 位である。

農産：2015 年大豆生産量は国内 1 位で、ロシア全体の収穫量の 36.9%を占めた。

小麦生産は 40 位、ライ麦 59 位、ライコムギ 59 位、大麦 46 位、燕麦 37 位、トウモロコシ 24 位、ソバ 19 位、インゲン 14 位、ヒマワリの種 40 位、ジャガイモ 58 位、路地栽培および温室栽培の野菜 62 位、スイカ・かぼちゃ類 21 位である。

最大の作付面積を占めているのは大豆(76%)、秋まき・春まき小麦(8.8%)、大麦(2.2%)、燕麦(1.8%)、トウモロコシ(1.6%)となっている。

畜産：アムール州の畜産は農産ほど発展していない。2015 年の畜産物生産額は 134 億ルーブルで、ロシア全体の 0.6%に当たり、地域としては 60 位である。食肉生産量 4 万 100 トンの内、鳥肉が 46.2%、豚肉が 26.8%、牛肉 24.7%、羊・ヤギ肉 0.5%、その他の肉が 1.9%となっている。

2015 年の鳥肉生産量は 1 万 8,500 トンであり、最近 5 年間で 4.7%、10 年間で 106.7%、2001 年と比較すると 320.5%増大している。ロシアの鳥肉生産量に占める州の率は 0.4%である(46 位)。

(出所) ab-centre 「ロシア各地域の農業」 (<http://ab-centre.ru/page/selskoe-hozyaystvo-regionov-rossii>)

5. 林業

林業企業数	141 社 従業員数：1,099 人 (2014 年)
未加工木材生産量	46 万 5,300 m ³ (33 位) (2014 年)
森林復元	3 万 7,700 ha (2014 年)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

6. 林業概況

アムール州の森林フォンド総面積は 3,051 万 5,300 ha であり、森林面積は 2,284 万 5,000 ha である。生産林は 1,909 万 2,600 ha で森林面積の 88.6%を占め、保護林は 8%、予備林が 3.4%を占めている。

総森林蓄積量は 20 億 1,255 万 m³であり、その内 15 億 8,912 万 m³ (78.9%) が針葉樹林、3,589 万 m³が硬質広葉樹、3 億 8,750 万 m³が軟質広葉樹である。成熟林と老齢林の森林蓄積は 10 億 3,225 万 m³である。

カラマツの割合が 60%、ベニマツ 2.8%、シラカバ 22%、トウヒ 2%、その他の樹木 11%となっている。

成熟針葉樹林の中ではトウヒとトドマツの森林が最も森林蓄積量が高く、1 ha当たり 193 m³で

ある一方、ベニマツの林は最も森林蓄積量が低く 19 m³/haである。広葉樹の中ではドロヤナギが最も森林蓄積量が高く 208 m³/haであるが、ナラは最も低く 65 m³/haである。

生産林における成熟・老齢樹木の総森林蓄積量は 7 億 4,812 万 m³であり、成熟・老齢樹木の総蓄積量の 81.4%である。総木材蓄積量の 85.8%を針葉樹林、0.3%を硬質広葉樹、13.9%を軟質広葉樹が占めている。

生産林の大部分は、輸送インフラと林業インフラが不十分な北西部、北部、北東部の僻地の営林区にある。

アムール州は森林面積、森林蓄積量、許容伐採量について極東連邦管区内で第三位である。森林の大部分は針葉樹林であるが、いくつかの営林区では広葉樹が多くなっており、これは主に、火災と針葉樹の過剰伐採が原因である。

2012 年、アムール州の年間許容伐採量は 1749 万 1,200 m³であった。

実際の木材加工量は 180 万 4,080 m³で許容伐採量の 10%である。

アムール州には 18 の営林区があり、貸与されている森林総面積は 348 万 2,500 haである。

(出所) 国連食糧農業機関「ロシア極東の林業調査」

(http://www.eastagri.org/meetings/docs/meeting100/AnnexII_forest%20resources_management_cert_RUS.pdf)

7. 水産業

活魚・生魚漁獲量	228 トン (割当量) (2014 年)
漁獲品目	カワカマス、フナ、キタノウグイ、フトセトゲ、コウライニゴイ、ギギ、ナマズ、カワメンタイ、コイ、コクレン、ツマリカワヒラ、コグチマス、ハナマス、チョウザメ、シロザケ

(出所) アムール州 動物および動物生息環境の保全・監督・利用規制局 (<http://www.amurohota.ru>)

8. 水産業概況

アムール州の水産フォンドは、河川 (アムール、ゼヤ、セレムジャ、アルハラ、トミ、オレクマ)、湖 (1-100 ha の天然の湖、灌漑システムの小規模な貯水池 1 万 ha)、水力発電所の貯水池 (ゼイスコエ : 24 万 2,000 ha、ブレイスコエ : 7 万 4,600 ha) である。アムール州政府によって 2010 年に 48 漁区が指定され、愛好者・スポーツフィッシング用に 42 カ所、伝統的な少数民族による漁業用に 2 カ所、商業漁業用にゼイスコエ貯水池とブレイスコエ貯水池の 6 カ所が認められたが、商業漁業はほとんど行われておらず、主に愛好家による釣りとスポーツフィッシングに利用されている。漁獲品目は、カワカマス、フナ、キタノウグイ、フトセトゲ、コウライニゴイ、ギギ、ナマズ、カワメンタイ、コイ、コクレン、ツマリカワヒラ、コグチマス、ハナマスである。2014 年には 228 トンの割当量が決められたが、すべてが消化されるわけではない。2015 年にアムール川、ゼヤ川でも商業漁業用の 10 漁区が認められ、チョウザメの稚魚の放流なども行われている。

(出所) アムール州 動物および動物生息環境の保全・監督・利用規制局 (<http://www.amurohota.ru>)、

アムール州動物界保護局 (<http://www.amur-ohota.ru>)

9. 2013年産業別GRP

農業・林業	漁業	鉱業	加工業	電気・ガス・水道業	建設業	卸売・小売業	ホテル・レストラン
5.2%	0.0%	11.6%	4.6%	7.1%	7.9%	12.0%	1.0%
運輸・通信	金融業	不動産業	政府・軍関係	教育関連	ヘルスケア及び行政サービス	その他の社会・個人サービス	
21.7%	0.2%	4.9%	10.3%	5.9%		6.3%	1.3%

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

10. 国家プログラム

(1) 農業

タイトル	国家プログラム「2014~2020年のアムール州における農業振興および農産物、原料、食糧市場の規制」		
国家プログラム 履行責任者	アムール州 農業省		
期間	2014年~2020年	予算	8,392,866,300 ルーブル
目的	アムール州の農業分野の安定的発展と農村地域における生活の質の向上のための環境の整備		
課題	<ol style="list-style-type: none"> 主要農作物についてアムール州の食糧安全保障を確保し、州内の農業生産者によって生産される農作物の競争力を向上させること 気候変動や自然の異常という環境下でも耐えうるような包括的な土地改良をすることにより、農業生産の生産性と安定性と土壤肥沃度を高めること。土地改良される土地の生産能力を向上させ、天然資源の効率的利用を強化すること 主要畜産物についてアムール州の食糧安全保障を確保し、州内の畜産生産者によって生産される畜産物の競争力を向上させること 食肉生産のための畜産の競争力の向上 州内の家畜伝染病面および家畜衛生面の安全を確保し、改善すること 農村部における小規模経営形態の農業とそれ以外の活動の支援と振興、農村部の生活の質を向上させること 農業分野における機械・技術の近代化、革新的省資源技術の導入により、農業の効率と農産物の競争力を向上させること 農村部に良好なインフラ環境を整備することにより、農村部における生活に快適な環境を整備し、農業分野への投資を促進すること 農業の振興、農産物、原料、食糧市場の規制の分野で、アムール州の国家機関が効率的に活動すること 個人事業主を含めた農業団体、農民経営（フェルメル）において、種イモ、露地栽培の野菜、温室栽培の野菜を安定的に生産すること 牛乳生産の増加 農作物の国内種子市場の振興のための環境整備、国内の農業生産者に国産の家畜、家禽の優良種繁殖用の材料を提供するための最大限の環境を整備すること 農産物を確実に販売すること。季節的な保管と下処理のための環境整備をすることにより、農産物の商品化率を高めること 		
プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 農産分野、農産物の加工・販売分野の振興 州内の農地の土地改良の振興 畜産分野、畜産物の加工・販売分野の振興 食肉生産用の畜産の振興 州内の家畜伝染病面、家畜衛生面の安全の確保 小規模経営形態の支援 		

	<ul style="list-style-type: none">7. 機械・技術の近代化、技術開発の振興8. 農村部の安定的な発展9. 国家プログラムの実現分野において国家政策の基本方針を実現すること10. 野菜の露地栽培、温室栽培、種イモ栽培の振興11. 酪農の振興12. 繁殖、品種改良、育種の支援13. 卸売・配給センターと社会給食システムのインフラの発展
--	---

VI マガダン州 (Magadanskaya oblastj)

1. 一般事情

面積	46 万 2500 km ²
人口	14 万 8,100 人 (2015 年 1 月 1 日現在)
首都	マガダン (Magadan)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」



2. 経済

主要産業	鉱業 (17.4)、政府・軍関係 (16.2)、卸売・小売業 (13.4%)、建設業 (11.6%)
域内総生産(GRP)	884 億 9,010 万ルーブル (2013 年)
消費者物価指数	107.8% (2014 年 12 月前年同月比)
失業率・失業者数	3.1% 3,000 人 (2013 年)
貿易額	・輸出 : 4 億 6,210 万ドル ・輸入 : 1,290 万ドル
主要貿易品目	・輸出 : 食料品・農産原料 (9,240 万ドル)、金属・金属製品 (820 万ドル)、機械・設備・輸送機器 (210 万ドル) ・輸入 : 機械・設備・輸送機器 (6,530 万ドル)、食料品・農産原料 (2,740 万ドル)、化学工業製品・ゴム (1,020 万ドル)、金属・金属製品 (390 万ドル)、燃料・エネルギー製品 (330 万ドル)、木材・パルプ・製紙製品 (30 万ドル)
主要貿易相手国	・輸出 : 対 NIS 諸国 1 億 5,280 万ドル、その他諸外国 3 億 930 万ドル ・輸入 : 対 NIS 40 万ドル、その他諸外国 1 億 1,250 万ドル

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

3. 農業

農業生産額	19 億 4,800 万ルーブル (2014 年) 80 位	
農地面積	作付面積 : 5,700 ha (2014 年)	
主要農畜産物 生産量 (2015 年)	穀物 : - ジャガイモ : 1 万 200 トン (78 位) 野菜 : 4,100 トン (78 位)	食肉 : 400 トン (84 位) 牛乳 : 5,900 トン (80 位) 鶏卵 : 2,440 万個 (72 位)
畜産(頭数)	牛 3,700 (80 位)、豚 1,800 (77 位)、羊・ヤギ 300 (81 位)	

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

4. 農業概況

2015年、マガダン州の農業製品生産額は24億ルーブルで、ロシアの地域で78位、ロシア全体に占める生産額の割合は0.05%であった。

人口1人当たりの農業生産額は16,500ルーブルで、この数値についてマガダン州はロシアで72位であり、ロシア全体の平均値は34,400ルーブルである。

2015年、マガダン州の農業製品の構成については、農産物が61.5%（15億ルーブル）、畜産物が38.5%（9億ルーブル）であった。

厳しい気候条件のため、マガダン州では農産は発達していない。作付面積は6,500haで、ロシアの総作付面積の0.01%（ロシアの地域で79位）である。主にジャガイモ、野菜、牧草が栽培されている。

2015年、マガダン州の畜産物生産額は9億ルーブル（ロシア全体の生産額の0.4%、ロシアの地域中79位）であった。食肉生産量は600トンであり、その約半分、49.2%は鳥肉（300トン）、33.6%が豚肉（200トン）、12.1%が牛肉（100トン）、その他の食肉が5.1%（30トン）である。

2015年、マガダン州では豚1,800頭、牛3,200頭（内雌牛1,500頭）、羊とヤギ200頭が飼育されている。全体として、最近5年間の傾向をみると、家畜数の減少が認められる。

（出所）ab-centre「ロシア各地域の農業」(<http://ab-centre.ru/page/selskoe-hozyaystvo-regionov-rossii>)

5. 林業

林業企業数	3社 従業員数：6人（2014年）
未加工木材生産量	2万6,200m ³ （2014年）（64位）
森林復元	2,500ha（2014年）

（出所）ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

6. 林業概況

森林国家登記簿のデータによると、2013年1月1日現在、マガダン州の森林フォンドの総面積は44,595,700haであり、マガダン州総面積の96.6%である。森林被覆率は37.6%である。針葉樹林が6,748,900ha、その内カラマツ林が6,748,500haを占め、軟質広葉樹林は211,400haである。

総森林蓄積は4億2,770万m³であり、その内成熟林と老齢林の森林蓄積は2億6,730万m³である。

許容伐採量は93,500m³であるため、林業分野は発展していない。

マガダン州の森林フォンドでは750法人と森林区の賃貸契約が結ばれており、賃貸されている地区的総面積は3,065万haに及ぶ。その内、22,100haは地質調査および有用鉱物鉱床の開発、2,481万1,000haは狩猟活動の実施、49万haが木材加工に使用されている。

（出所）国家プログラム「2014年～2020年のマガダン州における林業の振興」

7. 水産業

水産加工品生産量	魚（活、冷蔵、冷凍）：57,100 トン 甲殻類（冷凍以外）、カキ、水生無脊椎類（活、冷蔵、冷凍）：12,300 トン
活魚・生魚漁獲量	69,400 トン（2014 年）
漁獲品目	スケトウダラ、ニシン、タラ、オヒヨウ、コマイ、カレイ、鮭鱈、カニ、エビ、ツブ
総出荷額	39 億 4260 万ルーブル
栽培漁業品目	シロザケ
企業数	63 社（漁業、養殖業）（2014 年）
従業員数	700 人（漁業、養殖業）（2014 年）

（出所）マガダン州統計局「数字で見るマガダン州 2015」（<http://magadanstat.gks.ru>）、

国家プログラム「2014-2016 年のマガダン州における栽培漁業の振興」

8. 水産業概況

主要業種の一つであり、製品は国内のみならず、米国、中国、日本、韓国などにも輸出されている。主要な漁獲品目はスケトウダラ、ニシン、タラ、オヒヨウ、コマイ、カレイ、鮭鱈、カニ、エビ、ツブである。2015 年に水産分野で活動したのは、17 社の沿岸加工企業を含む 92 企業（有限会社「チフ・ルイブ・コム」、有限会社「マガダン・ルイバ」、有限会社「マグ・シー・インターナショナル」など）、個人事業主である。2015 年には売上の増大により 2009-2014 年の投資の 1.5 倍の投資を行うことができた（9 億 4,896 万ルーブル）。2009-2013 年の投資は沿岸加工設備の振興と近代化に向けられ、2014 年の投資は船団の購入、船上設備、船上加工設備の修理と近代化に、2015 年にはオークションによる水生生物資源の漁獲割当量の購入に使われた。

サケの養殖は 1983 年に始まり、水産・海洋漁業研究所が作成した水産養殖・生物学データに基づき、1983-1996 年にマガダン州にはオラ基礎生産・環境順応基地、アルマン、ヤナ、タウイなど 4 カ所の鮭鱈孵化場が建設された。これらの孵化場はオホーツク海北部のタウイ湾にそそぐオラ川、アルマン川、ヤナ川、タウイ川など大きな河川にそれぞれ位置し、イクラを孵化させ、稚魚を放流している。これらの孵化場に加えて、クリクティ川スターーラヤ・ベショーラヤ湾に鮭鱈の稚魚の集中育成・放流ポイントがあり、マガダン州における牧場型鮭鱈養殖の手法が開発されており、成果を上げている。今まで利用されていなかった北オホーツク沿岸の中小河川にもこの手法による人工養殖を取り入れる計画であり、このような栽培漁業の発展により、マガダン州におけるシロザケなどの年間漁獲量を 5,000~7,000 トン以上に保つことができる予定である。

（出所）マガダン州政府ホームページ、国家プログラム「2014-2016 年のマガダン州における栽培漁業の振興」

9. 2013 年産業別 GRP

農業・林業	漁業	鉱業	加工業	電気・ガス・水道業	建設業	卸売・小売業	ホテル・レストラン
1.4%	3.1%	17.4%	2.5%	9.4%	7.9%	13.4%	1.1%
運輸・通信	金融業	不動産業	政府・軍関係	教育関連	ヘルスケア及び行政サービス	その他の社会・個人サービス	
6.7%	0.2%	5.7%	16.2%	5.2%		7.7%	2.1%

（出所）ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

10. 国家プログラム

(1) 農業

タイトル	国家プログラム「2014~2020 年のマガダン州の農業の振興」		
国家プログラム 履行責任者	マガダン州農業・漁業・食糧省		
期間	2014 年~2020 年	予 算	3,127,499,100 ルーブル
目的	<ul style="list-style-type: none"> 向上した牛乳生産の水準を維持し、卵、食肉、露地栽培および温室栽培の野菜、ジャガイモの生産を増大させること 農業分野の商品生産者の経済的安定性の向上 社会的に重要な北方先住少数民族のトナカイの伝統的飼育の振興を支援すること マガダン州内の家畜伝染病面の安全を維持すること 農業生産に使用されている土地資源の維持と再生のための環境を整備すること、マガダン州の農業地域を安定的に発展させること 農業分野のインフラの振興により、住民の需要を最大限に満たすこと 		
課題	<ul style="list-style-type: none"> 農業生産に利用される天然資源の保全と再生、土壤の肥沃化を含む、国家政策の実現 2012 年 7 月 14 日付ロシア連邦政府決定 No. 717 によって承認された国家プログラム「農業の振興と農産物、原料、食品市場の規制」に規定された基本方針の共同出資に関するものを含め、農業および家畜衛生分野の法律およびその他の法令の要件を満たすこと 輸入代替のための農業の優先分野に対する国家支援システムを創設し、地域の市場に手頃で、安全で、良質な地場の食品をより多く供給するために、効率的で競争力のある農業生産を行うための環境の整備 農業・食糧市場のインフラ整備の支援 小規模経営形態の支援 農業の振興および農業製品、原料、食糧市場の規制分野における国家権力機関の効率的な業務 農業の安定的発展のための農業の採算性水準の向上 農村住民の生活の質の向上 農業分野の機械の近代化と技術開発の促進 農業用地の効率的利用のための環境の整備 農業用地の土地改良の振興 不要な行政障壁を取り除くための商業分野の法的規制の改善 様々な形態の商業のバランスのとれた発展、商業インフラの創設 商業活動を行う経営主体の業務面の積極性の促進 マガダン州の居住地における商業企業の保護と支援 		
プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 2014-2020 年の農産、農産物の加工・販売分野の振興 2014-2020 年の畜産、畜産物の加工・販売分野の振興 2014-2020 年の小規模経営形態の支援 2014-2020 年の機械・技術の近代化、技術開発の振興 国家プログラム「2014-2020 年のマガダン州の農産の振興」の実現 2014-2017 年および 2020 年までのマガダン州の農村地域の安定的発展 2014-2020 年のマガダン州における農業用地の土地改良の振興 2016-2020 年の食肉生産のための畜産の振興 2016-2020 年の野菜の露地栽培、温室栽培、種イモ栽培の振興 2016-2020 年の酪農の振興 		

	11. 2016-2020 年の繁殖、品種改良、育種の支援 12. 2016-2020 年のマガダン州内における商業の振興 13. 2016-2020 年のマガダン州の国家による地域家畜衛生監視および国家家畜衛生機関の発展 14. 2016-2020 年のマガダン州におけるトナカイ飼育の振興
--	---

(2) 林業

タイトル	国家プログラム「2014 年～2020 年のマガダン州における林業の振興」		
国家プログラム 履行責任者	マガダン州林業、森林状況監視・監督局		
期間	2014～2020 年	予 算	2,765,652,369 ルーブル
目的	● 森林の利用、保全、保護、再生の効率の向上 ● 森林の資源環境面のポテンシャルと地球規模の機能を確実に守りつつ、森林資源および森林の有益な性質に対する社会の需要を安定的に満すこと		
課 題	● 森林火災、有害生物、不法伐採による林業の損失の削減 ● 森林の環境面の機能と生物学的多様性を守りつつ、森林の合理的かつ集中的利用のための環境を整備すること、森林の利用および再生の監視効率を上げること ● 森林の消滅と再生のバランスをとること、森林の生産性および品質を改善すること ● 森林管理の効率を上げること		
プロジェクト	● 国家プログラム実現のための環境の整備（2014年1月1日から2015年12月31日まで） ● 森林の利用、保全、保護および再生（2016年1月1日から2020年12月31日まで）		

(3) 水産業

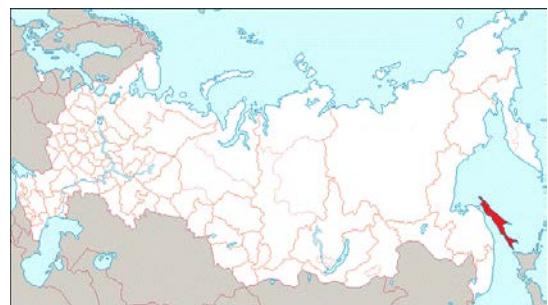
タイトル	国家プログラム「2014-2016 年のマガダン州における栽培漁業の振興」		
国家プログラム 履行責任者	マガダン州農業・漁業・食糧省		
期間	2014 年～2016 年	予 算	15,000,000 ルーブル
目的	マガダン州における栽培漁業の振興によるサケ属の漁獲（水揚げ）量の増大		
課 題	マガダン州における栽培漁業の振興のための環境の整備		
プロジェクト	規定なし		

Ⅷ サハリン州 (Sakhalinskaya oblasti)

1. 一般事情

面積	8万 7,101.6 km ²
人口	48万 8,400人 (2014年)
首都	ユジノサハリンスク (Yuzhno-Sakhalinsk)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」



2. 経済

主要産業	鉱業 (61.1%)、建設業 (6.2%)、不動産業 (5.8%)
域内総生産(GRP)	6,737億 7,540万ルーブル (2013年)
消費者物価指数	108.6% (2014年12月前年同月比)
失業者数	1万 8,400人 (6.5%) (2014年)
貿易額	<ul style="list-style-type: none"> 輸出：166億 9,620万ドル (2014年)、116億ドル (2015年) 輸入：13億 650万ドル (2014年)、11億ドル (2015年)
主要貿易品目	<ul style="list-style-type: none"> 輸出：燃料・エネルギー製品 (石油、液化天然ガス、石炭) (95.7%)、魚・海産物 (3.1%) (2014年) 輸入：機械・設備・輸送機器 (59.3%)、金属・宝石・金属製品 (27.1%)、化学工業製品 (6.3%) (2015年) <p>(サハリン州政府公式サイト)</p>
主要貿易相手国	<ul style="list-style-type: none"> 輸出：日本、韓国、中国、台湾、インドネシア、ノルウェイ 輸入：ノルウェイ、英国、ベルギー、中国、フランス、イタリア、日本 (2015年)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

3. 農業

農業生産額	99億 6,100万ルーブル (農産物 70億 3,220万ルーブル、畜産物 29億 2,890万ルーブル) (2014年)						
人口一人当たりの農業総生産	<ul style="list-style-type: none"> 1万 5,530ルーブル (2012年) 1万 7,638ルーブル (2013年) 2万 341ルーブル (2014年) 						
農地面積	<ul style="list-style-type: none"> 作付面積：2万 6,600 ha (2014年) 内訳：ジャガイモ 6,300 ha、野菜 1,800 ha、飼料用作物 1万 8,500 ha 						
主要農畜産物 生産量 (2014年)	<table> <tr> <td>ジャガイモ：9万 3,300 トン</td> <td>食肉：2,900 トン</td> </tr> <tr> <td>野菜：4万 2,000 トン</td> <td>牛乳：2万 7,600 トン</td> </tr> <tr> <td>飼料用根菜類：100 トン</td> <td>鶏卵：1億 1,470 万個</td> </tr> </table>	ジャガイモ：9万 3,300 トン	食肉：2,900 トン	野菜：4万 2,000 トン	牛乳：2万 7,600 トン	飼料用根菜類：100 トン	鶏卵：1億 1,470 万個
ジャガイモ：9万 3,300 トン	食肉：2,900 トン						
野菜：4万 2,000 トン	牛乳：2万 7,600 トン						
飼料用根菜類：100 トン	鶏卵：1億 1,470 万個						
畜産(頭数)	牛 1万 8,168、豚 1万 7,084、馬 553、羊・ヤギ 3,190、鳥 43万 8,300 (2015年1月1日)						

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

4. 農業概況

サハリン州とクリル諸島の経済において農産分野の役割は重要である。ロシアの農業地帯から遠く、輸送も困難なため、地元の農産物生産が住民の重要な食糧供給源となる。

主な農産物は牛乳、ジャガイモ、野菜、豚肉、鶏卵である。ほとんどすべての農産物が地域内で消費される。農産は域内総生産の6%を占める。地域内の平均自給率は食肉の9%、ジャガイモ100%、野菜50%、牛乳および乳製品35%、鶏卵75%である。

州内の農業は厳しい自然気象条件のなかで行われており、農業に最も適しているのは、ティモフスク地区、ポロナイスク地区、サハリン南部、西部地区であるが、これらの地域の大部分は多湿である。

最大の農産物生産地はアニワ地区、ティモフスク地区、ウグレゴルスク地区、ユジノサハリンスクに集中している。栽培される主な野菜はキャベツ、ニンジン、ビーツである。冬期を含め、温室でトマト、キュウリ、ピーマン、青菜類が栽培されている。

畜産は地元の植物飼料で行われる。厳しい自然条件の中でも高い搾乳量を保つサハリン種の牛が導入されている。養豚、養鶏が広く行われている(2カ所の養鶏場が稼働している)。黒ミンク、銀、パステルミンクなど毛皮獸の飼育が進んでいる。製品は主に州外に輸出される。また、トナカイの飼育はサハリン農業の主要分野の一つである。

(出所) [all.biz 「ロシアの地域農業」](http://www.ru.all.biz/selskoe-hozyajstvo-sahalinskaya-oblast-srd60065) (<http://www.ru.all.biz/selskoe-hozyajstvo-sahalinskaya-oblast-srd60065>)

サハリン州は農業の発展、特にジャガイモ、野菜栽培、食肉生産、乳製品生産の発展を重視している。

2015年、サハリン州では養豚場建設プロジェクトが実現し、養鶏場の改築と設備更新、ユジノクリリスクの養豚場の改築、大規模な養鶏場の建設、複数の牛舎、2haの通年型温室、2カ所のジャガイモ貯蔵場の建設などが行われた。

(出所) サハリン州政府 (<http://sakhalinstat.gks.ru>)

5. 林業

林産企業	51社
未加工木材生産量	30万3,400m ³
製品出荷高	11億7,950万ルーブル
森林復元	4700ha

(出所) サハリン州統計局「数字で示すサハリン州 2014年」

(http://sakhalinstat.gks.ru/wps/wcm/connect/rosstat_ts/sakhalinstat/resources/430e0c804897b869a8c4f8f7eaa5adf2/C%D0%B0%D1%85%D0%B0%D0%BB%D0%B8%D0%BD%D1%81%D0%BA%D0%B0%D1%8F%D0%BE%D0%B1%D0%BB%D0%B0%D1%81%D1%82%D1%8C%D1%86%D0%B8%D1%84%D1%80%D1%8B%D0%BA%D1%82%D1%8B+2013-2014%D0%B3%D0%B3.pdf)

6. 林業概況

サハリン州の森林フォンド総面積は695万500haであり、保護林は131万100ha、生産林が564万2,000haを占める。サハリン州には予備林はない。クリル諸島には保護林の割合が高い(31%)。

2012年、サハリン州の総森林蓄積は6億2,510万m³である。針葉樹林の割合は70% (390万ha) であり、針葉樹が多く分布するのは島の北部と中央部である。硬質広葉樹林は、主にスミルニホフ営林区(15万8,700ha)とクリル営林区(16万5,500ha)に分布している。

成熟林と老齢林の平均蓄積は針葉樹が 181 m³/ha、硬質広葉樹が 96 m³/ha と軟質広葉樹が 105 m³/ha となっている。

生産林に多いのは針葉樹（トウヒとトドマツ）であり、総面積は 324 万 3,100 ha で、成熟段階と老齢段階の森林蓄積は 2 億 3,930 万 m³ である。軟質広葉樹林に多いのはシラカバとナラであり（クリル営林区）、その面積は 85 万 6,100 ha に及ぶ。

2012 年の年間可能伐採量はサハリン州で 210 万 800 m³ であったが、実際に使用された伐採量は 13% であり、主に針葉樹だった。

実際の木材加工量は 36 万 9,800 m³ であった。サハリン州には 17 の営林区があり、貸与されている森林総面積は 209 万 1,200 ha である。

ロシア連邦の他の地域とは地理的に離れており、陸路もないため、サハリン州の林業の対象は主に輸出市場（日本、韓国、中国）である。地理的な状況以外にもサハリン州において高付加価値の林産品製造の発達を妨げているのは（主に高い輸送費と燃料費のせいで）生産費が高いことと熟練した労働力の不足である。

（出所）国連食糧農業機関「ロシア極東の林業調査」

（http://www.eastagri.org/meetings/docs/meeting100/AnnexII_forest%20resources_management_cert_RUS.pdf）

森林はサハリン州の住民にとっても重要な意味をもち、環境を形成、保全し、社会のさまざまな需要を満たす復元可能な戦略資源であるため、安定的に森林を管理し、持続的に枯渇させることなく様々な目的で利用することが、重要な課題となる。

サハリン州の林業の問題点を解決するためには、まず第一に森林の正確な評価、森林経営を行い、森林の状態、利用率を知り、将来の予想をしなければならない。

第二に重要なのは森林の保全と保護である。サハリン州の森林資源損失の主な原因は森林火災であり、山が多いこと、強風、道路網の不備のために森林火災の消火が難しい。森林の防火を含め、火災の危険性の監視、森林火災消火の効率的なシステムの構築と発展、火災の発生および拡大の予防が必要である。

サハリン州には森林復元を必要としている土地が 38 万 5,700 ha あり、森林面積の 5.6% に当たる。森林復元のためにも州内の苗木栽培所の支援と種子センターと種子貯蔵庫の建設が必要である。

サハリン州では生物多様性の保全のために 53 の特別自然保護地域が指定されており、それに対する保護をサハリン営林局が行っている。

特別自然保護地域のネットワークをレクリエーションと観光目的で利用することがサハリン州のもう一つの方針であり、そのためにはインフラ整備に向けた対策が必要である。

森林の不法伐採については、森林監督（森林保全）をサハリン営林局の検査官が行っている。毎年、サハリン州では 250-300 の林業法違反が摘発されるが、その 3 分の 1 は、森林に大きな損害を与える樹木の不法伐採である。

（出所）国家プログラム「サハリン州の林業、狩猟、特別自然保護地域の振興」

7. 水産業

企業数	水産：795 社 養殖：65 社	（2014 年）
従事者数	水産：5,015 人 養殖：441 人	（2014 年）
漁獲量	72 万 6,800 トン（極東連邦管区の 27%）	（2014 年）
水産加工品生産量	43 万 9,900 トン（極東連邦管区の 20%）	（2014 年）

（出所）ロシア連邦教育科学省「ロシア極東の水産業」（<http://science.vvsu.ru/>）

8. 水産業概況

サハリン州の水産業は原料基盤の予想から水産製品の輸出まで幅広い経済活動を行っており、分野の多い複雑な構造を持っている。水産業の各分野（漁業、水産加工、水産資源の保全と再生産）以外に、補助的なサービス分野と工場、生産・社会インフラも含まれている。

近年、漁業、養殖業、水産加工、缶詰製造などサハリン州の水産業の主要分野の生産は、量的にも金額的にも増加傾向にあり、急速に発展している。島であるというサハリン州の特性によって、無尽蔵で大きなポテンシャルを持つ海洋水域において水産業を展開することができる。

2008年、サハリン州の漁獲量は47万5,000トンであったが、2010年から2012年の年平均漁獲量は、鮭鱈の割合が大きいため上下10%ほどの変動はあるものの、約70万トンの水準に安定していた。この漁獲量は極東連邦管区の漁獲量の22%、ロシア全体の15%を占める。

サハリン州の港湾に登録されている漁船、輸送船の総数の生産能力は73隻であり、平均使用年数は25年である。10年以下の新しい船舶は3.4%以下であり、378隻は航海の期間と距離が大きく制限される小型船である。

水産加工施設は冷凍、缶詰、燻製、干物、調理品など幅広い水産品を生産できる。沿岸加工施設には1万385.7トン/日の冷凍能力、14万7,300トンの同時冷蔵能力、260万個/日の缶詰製造能力がある。

サハリンの水産品には安定的な需要があり、輸出販売額は2008年には180億9,000万ルーブルであったが、2012年には245億6,960万ルーブルとなった。高付加価値製品（冷蔵魚、魚のフレッシュ、内臓など）の輸出が増加した。

（出所）国家プログラム「2014年～2020年のサハリン州における水産業振興」

9. 2013年産業別GRP

農業・林業	漁業	鉱業	加工業	電気・ガス・水道業	建設業	卸売・小売業	ホテル・レストラン
0.9%	2.5%	61.1%	3.7%	1.2%	6.2%	4.7%	0.5%
運輸・通信	金融業	不動産業	政府・軍関係	教育関連	ヘルスケア及び行政サービス	その他の社会・個人サービス	
4.3%	0.1%	5.8%	4.2%	1.6%		2.5%	0.7%

（出所）ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

10. 国家プログラム

（1）農業

タイトル	国家プログラム「2014～2020年のサハリン州における農業振興および農産物、原料、食糧市場の規制」		
プログラム履行責任者	サハリン州 農業省		
期間	2014～2020年	予算	22,313,469.5千ルーブル
目的	1. 2010年1月30日付政令第120号ロシア連邦の食糧安全保障ドクトリンの指標に基づき、地域の食糧の自給自足を目指す 2. サハリン州の農業の投資振興に基づき、対内・外の市場での食糧品の競争力の増加 3. サハリン州の農業関連の団体の経済的持続性 4. 農地の持続的発展 5. 農業における土地と他の資源の利用の効率性の増加と再生、環境に配慮した		

	生産
課題	<ol style="list-style-type: none"> 主要な農産物の生産と食品の生産の増加促進 農産物、原料、食料市場の規制の効率性の向上 小規模農家支援 食品業、加工業、農業における持続的発展のための採算性の向上 農民の生活の質の向上 農業開発の投資促進 農業目的の土地利用の効率性向上のための環境整備 農業目的の土地改良の振興 農業における土地、水、他の再生可能な天然資源の環境に配慮した規制に則った利用、そして土壌肥沃度の最高値までの向上 特に危険な家畜感染症の流行の防止 農業の可能性の発展
プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 作物、作物生産・加工の発展 畜産物、畜産物生産・加工の発展 サハリン地域の家畜感染症の確保 小規模農家支援 農業機械と技術の近代化 農業生産の機能的かつ総合的環境の提供 食品加工産業の発展 農村地域の持続可能な発展 開墾された農地の発展

(2) 林業

タイトル	国家プログラム「2014年～2020年のサハリン州の林業、狩猟、特別自然保護地域の振興」		
プログラム履行責任者	サハリン州 林業・狩猟業省		
期間	2014年～2020年	予算	13,540,507,100 ルーブル
目的	<ol style="list-style-type: none"> 狩猟資源を安定的に存在させ、その生物多様性を守り、狩猟資源の数を保全、増大させるために効果的な動物界保護システムを構築すること 特別自然保護地域における生物多様性の保全と復元 森林利用と保全、保護、復元の効率向上 資源面とインフラ面の制限を克服することにより、林業を安定的に発展させ、高品質で競争力のある国産林産品で国内市場の需要に応え、森林資源の合理的利用によって輸入製品の割合を下げる 林業と狩猟業分野の人材の育成 		
課題	<ol style="list-style-type: none"> 動物界の保護のための対策の実施 特別自然保護地域とその保護施設の保全と現状評価、特別自然保護地域におけるリクリエーションと観光の振興のための環境整備、環境教育のレベル向上 森林の効率的利用、森林の資源・環境ポテンシャルと生物多様性の保全 火災と有害動植物による林業の損失削減 森林において適時に持続的な森林復元を行うこと 森林の資源環境ポテンシャルとグローバルな機能を確実に維持しながら、森林の利用効率を上げ、森林資源に対する社会の需要を満たすこと 林業企業に対する投資環境の改善 燃料・エネルギー木材資源の需要に安定的に応えること 林業と狩猟業分野の人材育成の向上 		

(3)水産業

タイトル	国家プログラム「2014年～2020年のサハリン州における水産業振興」		
プログラム 履行責任者	サハリン州 漁業庁		
期間	2014年～2020年	予 算	6,424,084 千ルーブル
目的	1. 水産業全体における効率的かつ持続可能な操業のための環境整備：十分に活かされていない商業的資源のフル活用のための環境整備、養殖業振興、サハリン州で生産される水産物の競争力強化、水産業への投資魅力を高めること 2. 雇用創出の促進		
課題	1. 連邦構成体に権限が移譲され、設置された、漁業管理と海洋生物資源の保全のための局の効率性の強化 2. 主要な生産基金の近代化の促進と沿岸の水産関連のインフラ開発。ならびに沿岸漁業や沿岸魚加工において高い付加価値をもつ魚製品の生産に従事する企業の近代化の促進 3. 魚加工と沿岸漁業における労働生産率の向上と通年雇用の増加 4. 海洋養殖業の振興、海洋生物資源（タイヘイヨウサケの自然産卵の復元、河川流域のサケの生態系を含む）の自然・人工両方の生殖量の増加と効率化、レクリエーションの可能性の成長 5. 養殖業や海洋生物資源を利用したレクリエーションの分野における企業活動のための環境の整備 6. 世界貿易機関（WTO）の参加国政府のために設立され、要望された漁業や水産物の認証のための組織的支援 7. 水産関連企業と社会的パートナーシップの発展、事業の自己組織化に向けた活動の開発と実施（公的な漁師組織と共に） 8. 魚製品の地域ブランドの形成のために制定された、投資と技術革新を促進する州および連邦プログラムへのサハリン州の漁業企業の参加の支援		
プロジェクト	1. サハリン州における水産業関連の政府機関の合理化と海洋生物資源の保全 2. タイヘイヨウサケ属の自然産卵の復活 3. 水産業関連企業の国家的支援		

Ⅷ ユダヤ自治州 (Ebreiskaya abtonomnaya oblasti)

1. 一般事情

面積	3 万 6,300 km ²
人口	16 万 8400 人 (2015 年 1 月 1 日現在)
首都	ビロビジャン (Birobidjan)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」



2. 経済

主要産業	運輸・通信 (17.4%)、政府・軍関係 (16.4%)、建設業 (13.5%)、卸売・小売業 (9.8%)
域内総生産(GRP)	378 億 8,540 万ルーブル (2013 年)
消費者物価指数	111.8% (2014 年 12 月前年同月比)
失業者数	8.7% 7,000 人 (2014 年)
貿易額	・輸出 : 2,350 万ドル ・輸入 : 7,060 万ドル
主要貿易品目	・輸出 : 木材・パルプ・製紙製品 (1,640 万ドル)、食料品・農産原料 (580 万ドル)、機械・設備・輸送機器 (10 万ドル) ・輸入 : 機械・設備・輸送機器 (2,980 万ドル)、金属・金属製品 (2,720 万ドル)、食料品・農産原料 (690 万ドル)、化学工業製品・ゴム (280 万ドル)、木材・パルプ・製紙製品 (90 万ドル)
主要貿易相手国	・輸出 : 対 NIS 諸国 70 万ドル、その他諸外国 (中国、日本など) : 2,280 万ドル ・輸入 : 対 NIS 諸国 190 万ドル、その他諸外国 (中国、日本など) : 6,870 万ドル

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

3. 農業

農業生産額	51 億 6,900 万ルーブル (2014 年)
農地面積	作付面積 : 12 万 2,200 ha (2014 年)
主要農畜産物 生産量 (2014 年)	穀物 : 1 万 6,700 トン (68 位) ジャガイモ : 7 万 7,200 トン (69 位) 野菜 : 2 万 5,900 トン (70 位) 食肉 : 2,000 トン (80 位) 牛乳 : 1 万 1,500 トン (79 位) 鶏卵 : 1,070 万個 (77 位) ハチミツ : 284 トン (52 位)
畜産(頭数)	牛 8,500 (78 位)、豚 1 万 1,000 (72 位)、羊・ヤギ 3,900 (75 位)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

4. 農業概況

ユダヤ自治州の農業生産は地域ごとにさまざまである。

シベリア横断鉄道に沿った西側半分は山が多く、東側は非常に沼地が多いため、この地帯の農業には問題点が多く、主に野菜と牛乳の生産が行われている。

州南部のレーニン地区、オクチャーブリ地区は、あらゆる主要作物を栽培できる好条件に恵まれており、アムール沿岸地域の主要農産地帯となっている。

沼地が多いため、農業の発展のためには干拓事業が必要であり、1970年から80年代にかけて大規模な土地改良が行われた。レーニン地区においては25,800ha、オクチャーブリ地区においては約2万haの土地が干拓され、利用されるようになった。土地改良は耕作地と牧草地の改良、良質な放牧場の建設を目的として行われ、他の地域でも成果がみられた。

食用野生植物と薬草資源が豊富である。採取の対象はキノコ（チチタケ、ヤマドリタケ、アスペンマッシュルーム、ヤマイグチ、ラクヨウなど）、ワラビ、ベリー類（クルフレップ、フレップ、クランベリー、カンボク）、アイヌネギ、松の実、ハシバミ、さまざまな薬草などである。最も量が多いのは実りの良い年には1,000トンを上回るキノコと、輸出、小売、個人使用向けのワラビの貯蔵品である。

（出所）all.biz 「ロシアの地域農業」

（<http://www.ru.all.biz/selskoe-hozyajstvo-vrejskaya-avtonomnaya-obl60079>）

5. 林業

林業企業数	40社（2014年）従業員数：440人
未加工木材生産量	15万2,800m ³ （2014年）（47位）
森林復元	データ非公開（2014年）

（出所）ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

6. 林業概況

ユダヤ自治州の森林フォンド総面積は210万8,000haで、極東連邦管区の約1%であるが、森林以外の土地が56万1,200ha含まれ、森林の大部分は1970年代、90年代に伐採されて、大規模な森林復元を必要としている。

年間許容伐採量は生産林の109万8,200m³であり、29万5,200m³が針葉樹林、6万1,700m³が硬質広葉樹、74万1,300m³が軟質広葉樹である。

（出所）国連食糧農業機関「ロシア極東の林業調査」

（http://www.eastagri.org/meetings/docs/meeting100/AnnexII_forest%20resources_management_cert_RUS.pdf）、国家プログラム「2015年～2020年のユダヤ自治州の林業振興」

7. 水産業

漁獲量	15トン（2014年）
漁獲品目	シロザケ（商業漁業） フナ、ギギ、ナマズ、ニゴイ、コイ（その他愛好家など）
栽培漁業 生産品目	シロザケ（テプロフ孵化場、ビドジャン孵化場） チョウザメ（スミドビチ地区）
企業数	孵化場：3カ所（2014年） 孵化池：2カ所

（出所）ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

8. 水産業概況

ユダヤ自治州にはアムール川を含め5,000以上の河川があり、その総長は8,231kmにおよぶが、アムール、ビラ、ビジャン、スタラ、イクラ、ウンゲン、サマラなど100kmを超える河川は少ない。また、約3,000の湖沼があり、規模の大きなものはドリンノエ、ザベレフスコエ、ボリショエなどであるが、1km²以下の湖沼が大部分であり、総湖面面積は約65km²である。

ユダヤ自治州には73種の魚が棲息しており、その大部分は湖沼にすむ淡水魚であるが、最も漁獲価値のある魚種は、多くの川へ秋に遡上するシロザケである。その他、遡上する魚としては、カワヤツメがある。

シロザケの再生産のために州内には1928年創業のテプロフ孵化場とビドジャン孵化場2つの孵化場が稼働しており、年間6,450万の孵化能力がある。またオシノフカ村に近いスマドビッチ地区ではチョウザメ孵化場の建設が行われている。ビロビジャン市にあるアムール州土地改良・水資源管理局は、将来年間100トンの魚を養殖できる70haの孵化池を持っている。

ユダヤ自治州内でも愛好家による釣りやスポーツフィッシングに人気があり、主にアムール川、ウルナ川、トゥングスク川、ビラ川、ビジャン川、その他の小河川で行われている。しかし、河川・湖沼の資源が激減した上に、生産性の高いものが少なく、生産性の高いアムール川は国境警備の体制により、利用に厳しい規制があるため、愛好家による釣りは制限されている。平地の水域における愛好家による釣りの漁獲品目はフナ、ギギ、ナマズ、ニゴイ、キタノウグイ、コイ、カワカマス、マンシュウドンコ、カムルチなどであり、山地においてはハナマス、コグチマス、ウスリーシロザケ、アブラハヤ、キタノカマツカなどである。

(出所) ロシア極東発展省 <http://minvr.ru/about/ministry.php>、現地ニュースサイト (<http://eaomedia.ru/>)、

9. 2013年産業別GRP

農業・林業	漁業	鉱業	加工業	電気・ガス・水道業	建設業	卸売・小売業	ホテル・レストラン
6.5%	0.0%	0.8%	6.0%	5.2%	13.5%	9.8%	1.2%
運輸・通信	金融業	不動産業	政府・軍関係	教育関連	ヘルスケア及び行政サービス	その他の社会・個人サービス	
17.4%	0.2%	6.8%	16.4%	5.3%		8.7%	2.2%

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

10. 国家プログラム

(1) 農業

タイトル	国家プログラム「2016~2020年のユダヤ自治州における農業振興および農産物、原料、食糧市場の規制」		
国家プログラム 履行責任者	ユダヤ自治州政府 農業局		
期間	2016年~2020年	予算	8,392,866,300ルーブル
目的	1. 主要農産物についてユダヤ自治州の食糧安全保障を確保し、ユダヤ自治州の農村部の生活の質を向上させること 2. 小規模経営形態の資金面の確実性を向上させること 3. 農業技術・生産技術の近代化の改善 4. 農業用地の再生と利用効率の向上 5. 農村部における快適な生活環境の整備 6. 農産物・原料・食糧市場の効率的発展		

課題	<ol style="list-style-type: none"> 主要農産物の生産増大を促進すること 輸入品に取って代わる主要畜産物の生産増大を促進すること 小規模経営形態の農業の支援と振興、農村部における生活の質の改善 機械・技術の近代化による農業生産効率の向上 農業用地の効率的利用のための環境の整備 農村部における社会インフラの発展水準と居住地の整備水準を向上させ、農村部住民の生活水準とその質を改善すること 農業専門家の専門技術レベルの向上 ユダヤ自治州における牛乳生産量の増大 種子生産の振興促進と農産物の収穫率の向上 野菜生産の振興促進
プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 2014-2020年のユダヤ自治州における農産分野、農産物加工・販売分野の振興 2014-2020年のユダヤ自治州における畜産分野、畜産物加工・販売分野の振興 2014-2020年のユダヤ自治州における小規模経営形態の支援 2014-2020年のユダヤ自治州における機械・技術の近代化 2014-2020年のユダヤ自治州における農業用地の土地改良の振興 2014-2017年のユダヤ自治州における農村地域の安定的発展 2014-2020年のユダヤ自治州における農産物市場の発展と農業分野の人材育成 2015-2020年のユダヤ自治州内における動物の特定危険病の予防と撲滅 2015-2020年のユダヤ自治州における酪農の振興 2015年のユダヤ自治州における繁殖、品種改良、育種の支援

(2)林業

タイトル	国家プログラム「2015年～2020年のユダヤ自治州の林業振興」		
国家プログラム 履行責任者	ユダヤ自治州政府森林局		
期間	2015～2020年	予算	2,765,652,369ルーブル
目的	<ul style="list-style-type: none"> 安定した森林管理 資源環境ポテンシャルの保全と改善 地域の社会・環境面の発展における森林の役割の向上 地域の環境面の安全性の確保 森林資源に対する社会の需要を安定的に満すこと 		
課題	<ol style="list-style-type: none"> ユダヤ自治州内に森林火災の予防、発見、消火の効果的システムを創設し、森林火災の警告および消火作業を行う州の国家機関の技術装備を向上させること、森林の保全および保護分野のその他の措置を実現すること 自家用の木材加工部門における市民の権利の実現 森林種子の常設基地を創設し、よい遺伝素質を持つ森林植物の種子フォンドを形成することにより、集約的な森林再生モデルを導入すること、よい遺伝素質を持つ種苗を栽培する森林品種改良・育種センターを創設すること ユダヤ自治州の森林フォンドの土地に、土地データを導入するために、農業組織が以前使用していた土地の所有権の境界を設定すること 森林関係分野における国家機能および国家サービスの履行効率の向上 		
プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 2015-2020年の森林の保全および保護 2015-2020年の森林の利用 森林の再生 動物界および狩猟資源の再生と保全 国家プログラムの実現 		

IX チュコト自治管区 (Chukotko Avtonomnyj okrug)

1. 一般事情

面積	72 万 1,500 km ²
人口	5 万 500 人 (2015 年 1 月 1 日現在)
首都	アナディリ (Anadir)

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」



2. 経済

主要産業	鉱業 (31.3%)、電気・ガス・水道業 (14.6%)、卸売・小売業 (13.7%)、政府・軍関係 (13.7%)
域内総生産(GRP)	469 億 8,970 万ルーブル (2013 年)
消費者物価指数	104.0% (2014 年 12 月前年同月比)
失業率・失業者数	3.2% 1,000 人 (2014 年)
貿易額	<ul style="list-style-type: none"> 輸出 : 1 億 3,430 万ドル 輸入 : 1 億 2,650 万ドル
主要貿易品目	<ul style="list-style-type: none"> 輸出 : 食料品・農産原料 (330 万ドル)、機械・設備・輸送機器 (270 万ドル)、金属・金属製品 (10 万ドル) 輸入 : 機械・設備・輸送機器 (4,810 万ドル)、金属・金属製品 (2,930 万ドル)、化学工業製品・ゴム (2,760 万ドル)、燃料・エネルギー製品 (230 万ドル)、木材・パルプ・製紙製品 (40 万ドル)
主要貿易相手国	<ul style="list-style-type: none"> 輸出 : その他諸外国 (韓国、アルメニア、米国など) : 1 億 3,430 万ドル 輸入 : 対 NIS 諸国 10 万ドル、その他諸外国 (米国、カナダ、中国、ドイツなど) 1 億 2,640 万ドル

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

3. 農業

農業生産額	10 億 5,400 万ルーブル (2014 年) 83 位						
農地面積	作付面積 : 0.0 ha (2014 年)						
主要農畜産物 生産量 (2015 年)	<table> <tr> <td>穀物 : -</td> <td>食肉 : 1,200 トン (82 位)</td> </tr> <tr> <td>ジャガイモ : 0.0 トン (84 位)</td> <td>牛乳 : 0 トン (84 位)</td> </tr> <tr> <td>野菜 : 100 トン (82 位)</td> <td>鶏卵 : 180 万個 (82 位)</td> </tr> </table>	穀物 : -	食肉 : 1,200 トン (82 位)	ジャガイモ : 0.0 トン (84 位)	牛乳 : 0 トン (84 位)	野菜 : 100 トン (82 位)	鶏卵 : 180 万個 (82 位)
穀物 : -	食肉 : 1,200 トン (82 位)						
ジャガイモ : 0.0 トン (84 位)	牛乳 : 0 トン (84 位)						
野菜 : 100 トン (82 位)	鶏卵 : 180 万個 (82 位)						
畜産(頭数)	牛 0 (84 位)、豚 100 (81 位)、羊・ヤギ 0 (84 位)						

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

4. 農業概況

2015年、チュコト自治管区の農業製品生産額は16億ルーブルで、ロシアの地域で80位、ロシア全体に占める生産額の割合は0.03%であった。

農業製品の構成は、畜産物が97.8%、農産物が2.2%である。

チュコト自治管区では農産は発達しておらず、わずかにジャガイモと野菜が栽培されている。小規模な温室栽培が若干行われている。2015年の総作付面積は10haである。

以前、チュコト自治管区では牛飼育用の干草製造用の牧草栽培が発達しており、牧草地の面積は数千haに達していた。現在は牛の飼育数がほぼゼロ（100頭以下）まで減少したため、牧草地もほとんどなくなってしまった。

チュコト自治管区における畜産物生産額は15億ルーブル（ロシア全体の生産額の0.1%、ロシアの地域中77位）である。チュコト自治管区の畜産には二つの分野があり、トナカイの飼育と卵を生産するための養鶏である。

2015年末のトナカイの数は15万6,100頭であり、これはロシア全体の数の9.7%に当たる。また管区内では野生のトナカイの狩猟も行われている。

2015年の鶏卵生産量は210万個であり、人口1人当たり年間40個になる。

（出所）ab-centre「ロシア各地域の農業」(<http://ab-centre.ru/page/selskoe-hozyaystvo-regionov-rossii>)

5. 林業

林業企業数	—
未加工木材生産量	—
森林復元	データ非公開（2014年）

（出所）ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

6. 林業概況

チュコト自治管区は丘と果てしないツンドラ地帯ばかりだと思われているが、実際には40%は森林に覆われており、その面積は2,770万haにおよぶ。許容木材加工量は少なく、カラマツのみで、15,400m³である。森林管理分野を扱っているのはチュコト自治管区森林局、農業政策・自然利用部であるが、この分野に従事しているのは70人に過ぎない。この部門は育種や、植林、造林を行っているのではなく、森林火災後を含めた森林復元、木材加工（主に薪作り）のためなどの営林区や森林の住民に対する貸与なども行う。しかし、森林管理局、チュコト営林区、森林航空保護基地などを含む林業局の最大の課題は森林の管理と森林火災の消火である。消火のために航空機を利用する降下消防部隊が利用されている。国家プログラムによっても林業分野の改善が考えられている。

（出所）国家プログラム「2014～2020年のチュコト自治管区の林業分野の振興」、国連食糧農業機関「ロシア極東の林業調査」

（http://www.eastagri.org/meetings/docs/meeting100/AnnexII_forest%20resources_management_cert_RUS.pdf）

7. 水産業

水産加工品生産量	46,300 トン (2012 年)
漁獲品目	カレイ、コマイ、エビ、サケ属、カワマス、ウスリーシロザケ、ハナマス、キュウリ、カワカマス、カワメンタイ
生産額	5 億 6,400 万ルーブル、GRP の 1.2% (2013 年)
企業数	漁業 : 2 社 (漁船 13 隻) 水産加工場 : 3 カ所 (2014 年)
従業員数	550 人

(出所) チュコト自治管区 web サイト (<http://www.chukotka.org>)、国家プログラム「2014~2018 年のチュコト自治管区の農業分野の振興」、ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

8. 水産業概況

チュコト自治管区の水産基盤は主に、河川 (総長 700 km)、湖、潟、チュコト自治管区を囲む東シベリア海、チュコト海、ベーリング海の海域である。ベーリング海に棲息している 402 種類の魚の内 50 種が漁獲品目であり、4 種のカニ、4 種のエビ、2 種の軟体頭足類が漁獲品目となっている。ベーリング海の北西部はロシア極東連邦管区において最も重要な漁区の一つであり、ここでの漁獲量は極東水域のすべての生物資源の 30%を占めるが、ベーリング海とチュコト海の沿岸部では主に沿海地方とカムチャツカ地方の水産企業が漁を行っている。

2013 年まで、チュコト自治管区では排他的経済水域では割当量 2 万トンを持つ「アリチエト」と「アヤン」の 2 社が、沿岸水域では「チュコト・ルイブ・プロム・ホズ」と「チュコト・オプ・トルク」の 2 社が漁を行っていたが、2014 年 4 月に「アリチエト」と「アヤン」の 2 社が、ウラジオストクに移籍したため、漁獲量などが減少している。

現在チュコト自治管区で漁労を行っている主要な企業は、沿岸企業である公開型株式会社「チュコト・ルイブ・プロム・ホズ」とチュコト自治管区国家企業「チュコト・オプ・トルク」であり、13 隻の漁船で漁労を行っている。

チュコト自治管区政府の支援のもと、2002 年から 2014 年までにアナディル、ハティルケ、メイヌイピリギノの 3 カ所に水産加工施設が建設され、稼働しており、1 日当たり 150 トンの魚を加工する能力を持つ。燻製工場と缶詰工場も稼働している。生産、販売されているのは塩蔵、燻製、干物、冷凍の魚、ポリエチレンパック詰めの白子、イクラ、魚肉ハムなどである。水産加工場では少数民族の従業員も多い。

沿岸企業によって地元の魚の需要は満たされており、余剰分は極東連邦管区の地域に販売している。2014 年にチュコト自治管区内の企業によって管区内向けに生産販売された水産物は 14,400 トン以上に上った。

内陸にも約 30 種の淡水魚が棲息している。主に漁獲対象となっているのは鮭鱒、カワマス、ウスリーシロザケ、ハナマス、キュウリ、カワカマス、カワメンタイなどである。許容漁獲量は多いが、遡上するカラフトマス、シロザケ以外の漁獲は少ない。

海洋公園、動物園、サーカスなど、セイウチの子供などの需要が増えており、割当量に基づいて海獣の捕獲も行われている。

(出所) チュコト自治管区 web サイト (<http://www.chukotka.org>)、国家プログラム「2014~2018 年のチュコト自治管区の農業分野の振興」

9. 2013年産業別GRP

農業・林業	漁業	鉱業	加工業	電気・ガス・水道業	建設業	卸売・小売業	ホテル・レストラン
1.9%	1.2%	31.3%	0.2%	14.6%	3.0%	13.7%	0.4%
運輸・通信	金融業	不動産業	政府・軍関係	教育関連	ヘルスケア及び行政サービス	その他の社会・個人サービス	
5.2%	0.1%	1.8%	13.7%	4.9%		6.6%	1.4%

(出所) ロシア連邦国家統計局「ロシアの地域 2015」

10. 国家プログラム

(1) 農業

タイトル	国家プログラム「2014~2018年のチュコト自治管区の農業分野の振興」		
国家プログラム 履行責任者	チュコト自治管区 農業政策・自然利用局		
期間	2014年~2018年	予算	3,779,385,300 ルーブル
目的	1. チュコト自治管区の食糧安全保障の確保 2. 原住民の伝統的生活様式と保存し、就業を確保するためのトナカイの家内飼育の振興 3. 社会的に意味を持つ分野である海獣捕獲の保存および振興 4. 食品工業および加工業の振興 5. 農業分野の企業の経済面の安定性の改善		
課題	1. 主要農業製品の増産および食品生産の促進 2. 品種改良・育種に関する施策の実施 3. 検疫および特別危険家畜病に関して、特別家畜衛生・予防措置、家畜病対策の実施 4. 食肉製品の完全加工および保存用の機械設備インフラ整備に対する支援 5. 農業の安定的発展のための農業における採算性水準の向上 6. 農業分野の技術開発活動の促進および技術開発の振興 7. 地元で生産した食品のチュコト自治管区消費者市場およびそれ以外への進出		
プロジェクト	1. 畜産分野、畜産物の加工・販売分野の振興 2. 海獣捕獲の振興 3. 機械・技術の近代化、技術革新の振興 4. 食品工業・加工業の振興 5. 国のサービス提供（業務履行）に関する国家的課題に対する資金供給		

(2) 林業

タイトル	国家プログラム「2014~2020年のチュコト自治管区の林業分野の振興」		
国家プログラム 履行責任者	チュコト自治管区 工業・農業政策局		
期間	2014~2020年	予算	842,176,800 ルーブル
目的	● 森林の利用、保全、保護、再生の効率の向上 ● 森林の資源・環境面のポテンシャルと地球規模の機能を確実に守りつつ、森林資源および森林の役に立つ性質に対する社会の需要を安定的に満すこと		
課題	● 森林における火災、有害生物、不法伐採による林業の損失の削減 ● 陸上・空から的人力あるいは装備によって、森林（自然）火災の予防、発見、消		

	<p>火のための効率的な地域システムを創設すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森林の合理的かつ効率的利用のための環境を整備すること ● チュコト自治管区内での森林管理の効率の向上 ● チュコト自治管区の林業における人員の養成と強化のための環境を整備すること
プロジェクト	<ol style="list-style-type: none"> 1. 森林の利用、保全および保護 2. 国家プログラムの実現 3. 森林の利用 4. 林業における人員の養成